

## 調査結果 2

### I 属性別集計

#### I-1 男性女性別集計（児童・生徒）

表 I-1 児童・生徒の男性女性別回答者数（人）

	小学生	中学生	高校生	特別支援学校 児童・生徒
男性	637	659	779	78
女性	612	626	866	44
無回答	5	31	39	2
合計	1,254	1,316	1,684	124

##### I-1-1 「自分自身について」

『自分自身について』について児童・生徒に聞いた回答の結果を性別で比較したところ、回答の割合が高かった項目は、小学生では、男子の回答は「仲の良い友だちがいる」(92.0%)、「外で運動したり遊んだりするのが好きだ」(81.3%)、「家族のことを理かいしている」(75.5%)であり、女子の回答は「仲の良い友だちがいる」(94.0%)、「みんなの役に立ちたい」(81.2%)、「家族のことを理かいしている」(79.1%)であった。

中学生では、男子の回答は「仲の良い友だちがいる」(86.2%)、「外で運動したり遊んだりするのが好きだ」(73.4%)、「社会のルールやマナーを守っている」(61.6%)であり、女子の回答は「仲の良い友だちがいる」(90.3%)、「みんなの役に立ちたい」(71.6%)、「社会のルールやマナーを守っている」(63.6%)であった。

高校生では、男子の回答は「仲の良い友だちがいる」(82.8%)、「社会のルールやマナーを守っている」(67.7%)、「外で運動したり遊んだりするのが好きだ」(65.3%)であり、女子の回答は「仲の良い友だちがいる」(86.7%)、「社会のルールやマナーを守っている」(68.2%)、「社会の役に立ちたい」(60.0%)であった。

特別支援学校児童・生徒では、男子の回答は「決まった時間に食事をしている」(79.5%)、「学校が好き」(78.2%)、「いろいろなことを知りたいという気持ちをもっている」(75.6%)であり、女子の回答は「学校が好き」(79.5%)、「決まった時間に食事をしている」(77.3%)、「いろいろなことを知りたいという気持ちをもっている」(72.7%)であった。(図 I-1～65 参照)

【小学生】

図 I-1 明るく元気だ

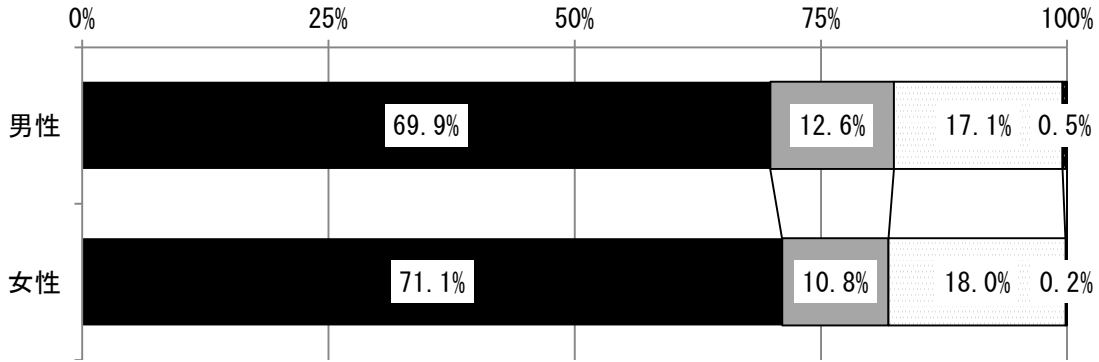


図 I-2 自分らしさをもっている

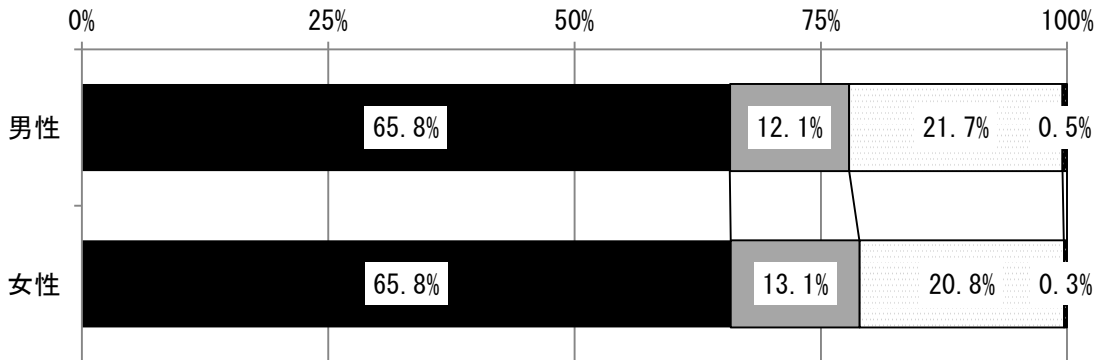


図 I-3 やさしさや思いやりがある

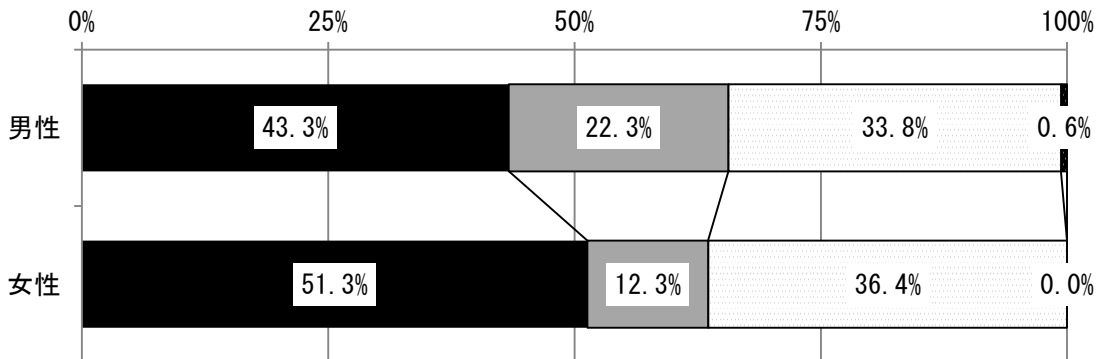
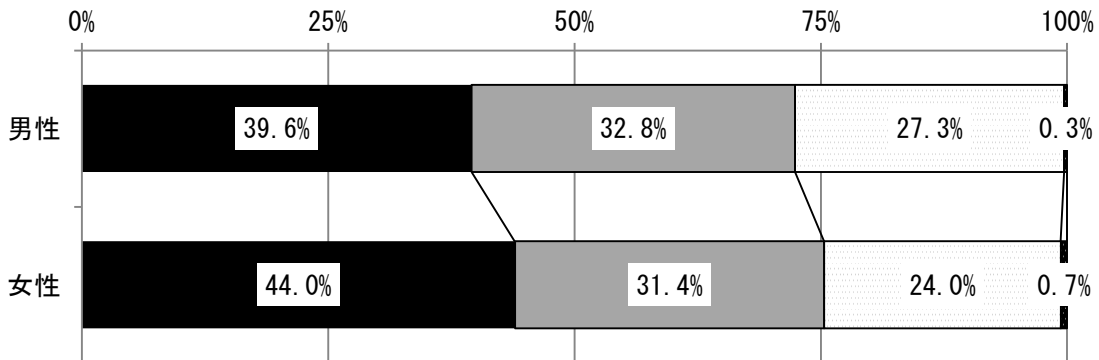


図 I-4 何事に対してもやる気がある



そう思う
  そうではないと思う
  わからない
  無回答

図 I-5 自分の気持ちをコントロールできる

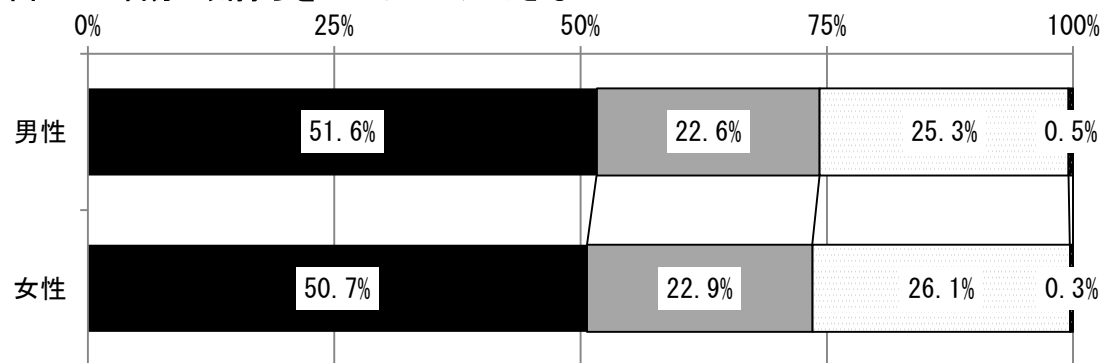


図 I-6 ねばり強く、最後までやりとげる

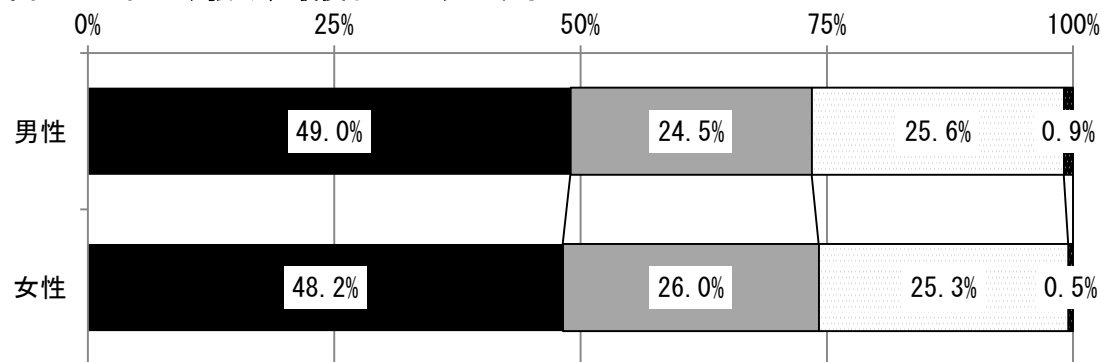


図 I-7 自分の気持ちを相手にうまく伝えられる

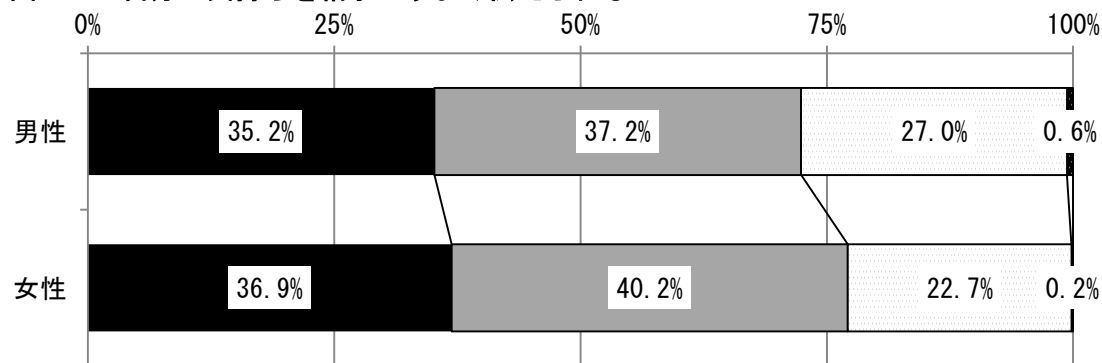
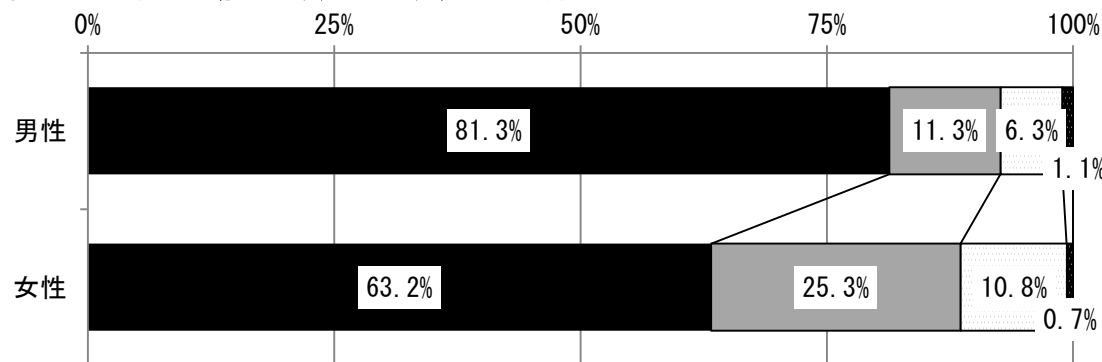


図 I-8 外で運動したり遊んだりするのが好きだ



そう思う
  そうではないと思う
  わからない
  無回答

図 I-9 自分の力でものごとを決められる

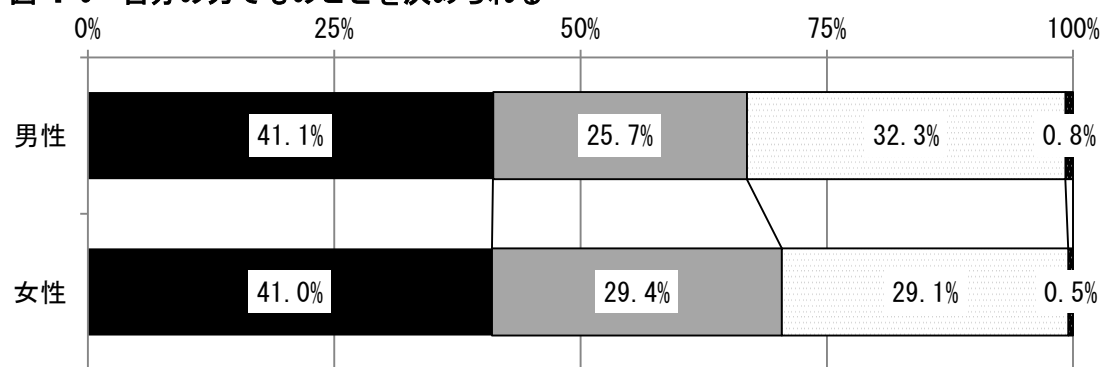


図 I-10 みんなの役に立ちたい

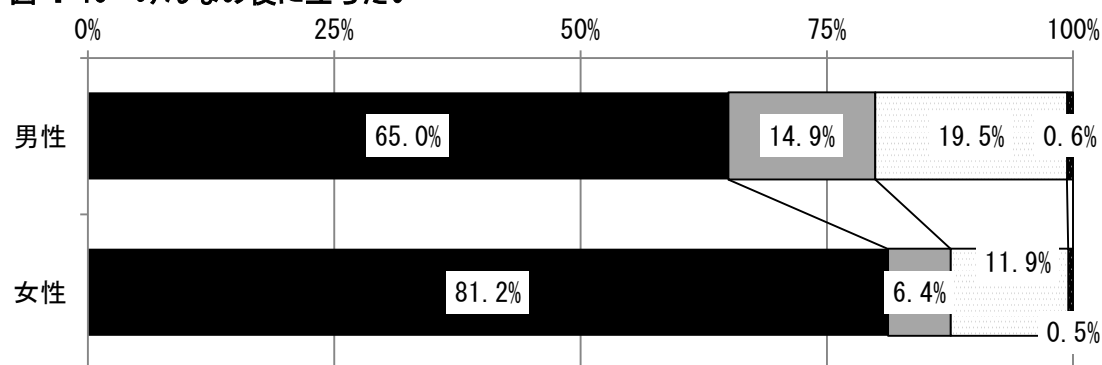


図 I-11 社会のきまりや約束したことを守っている

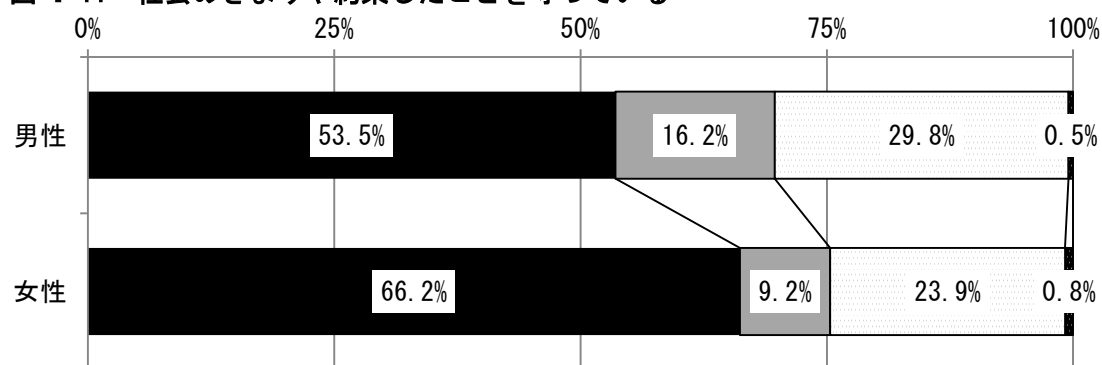
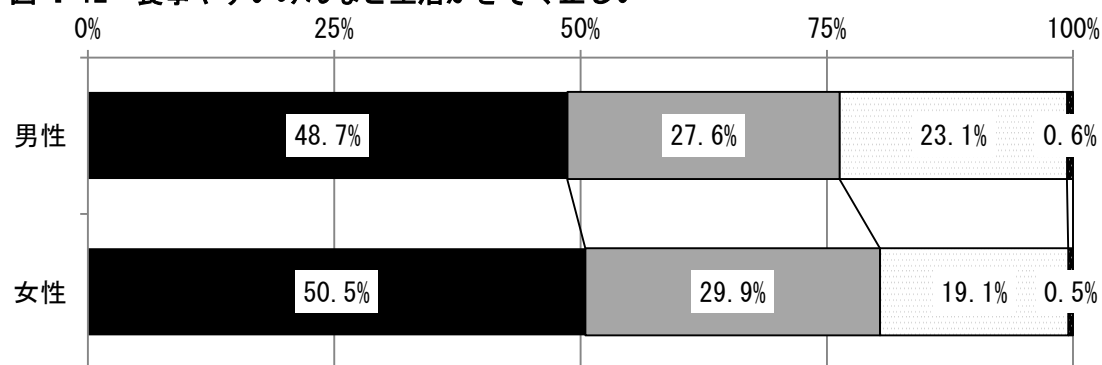


図 I-12 食事やすいみんななど生活がきそく正しい



そう思う
  そうではないと思う
  わからない
  無回答

図 I-13 仲の良い友だちがいる

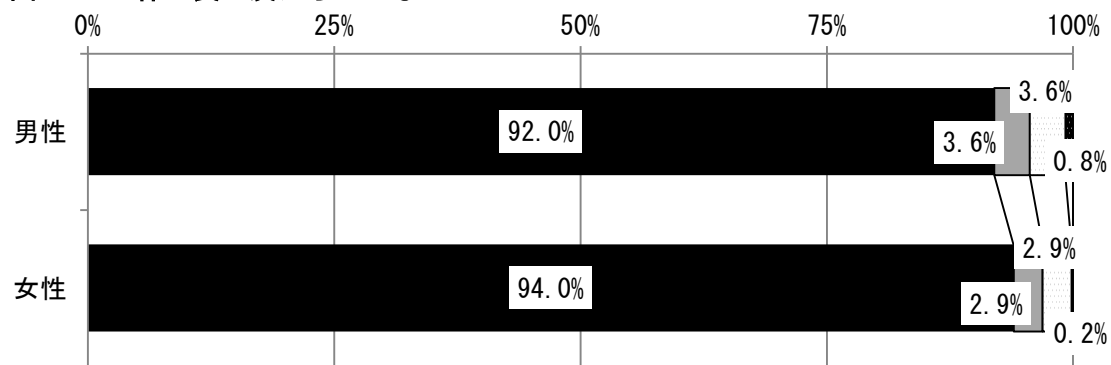


図 I-14 だれとでもすぐ仲良くなれる

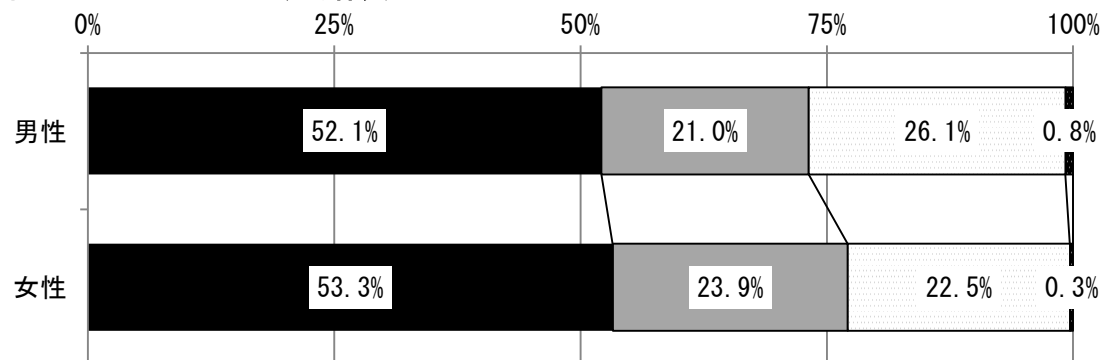


図 I-15 自分で考え、何かをつくり上げるのが得意だ

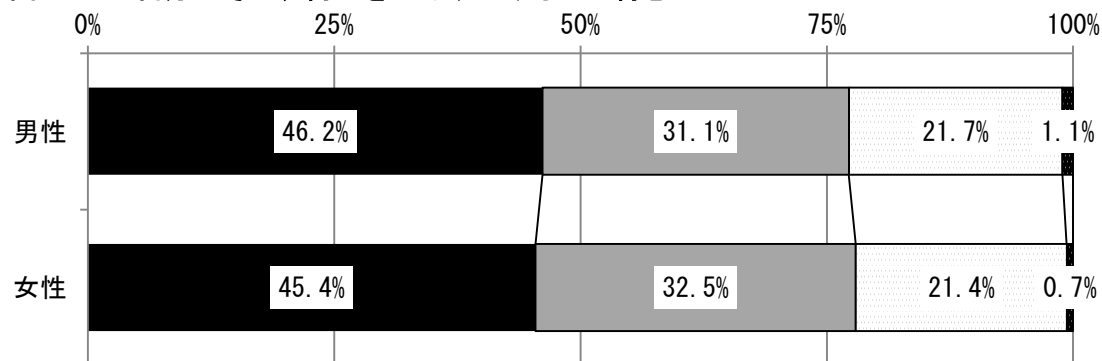
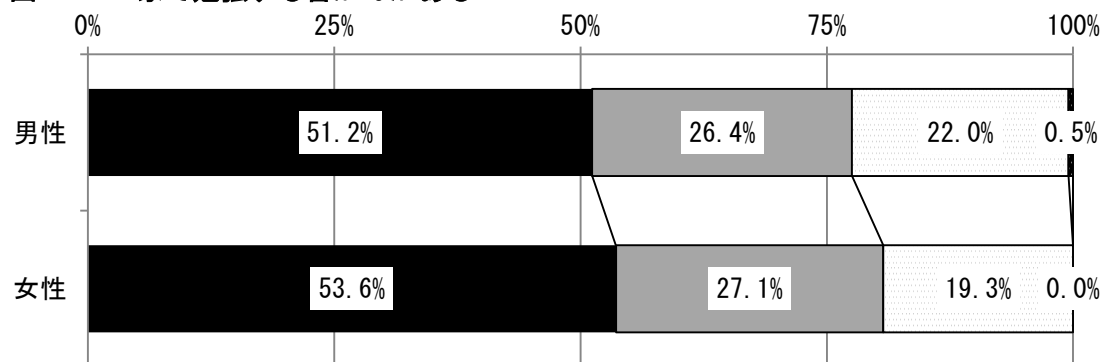


図 I-16 家で勉強する習慣がある



そう思う
  そうではないと思う
  わからない
  無回答

図 I-17 じゅ業の内ようが理かいてきる

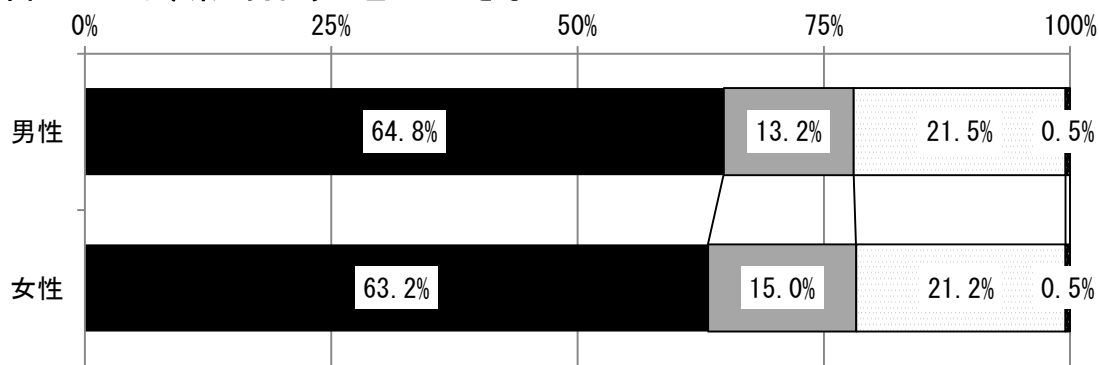


図 I-18 家族のことを理かいている

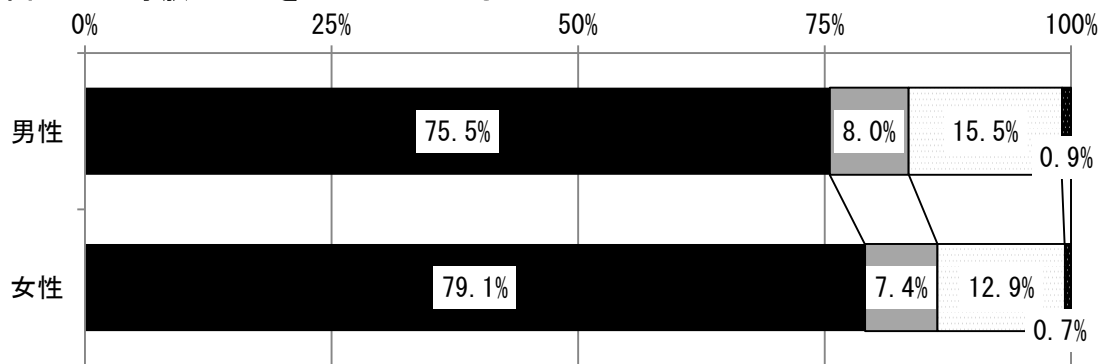
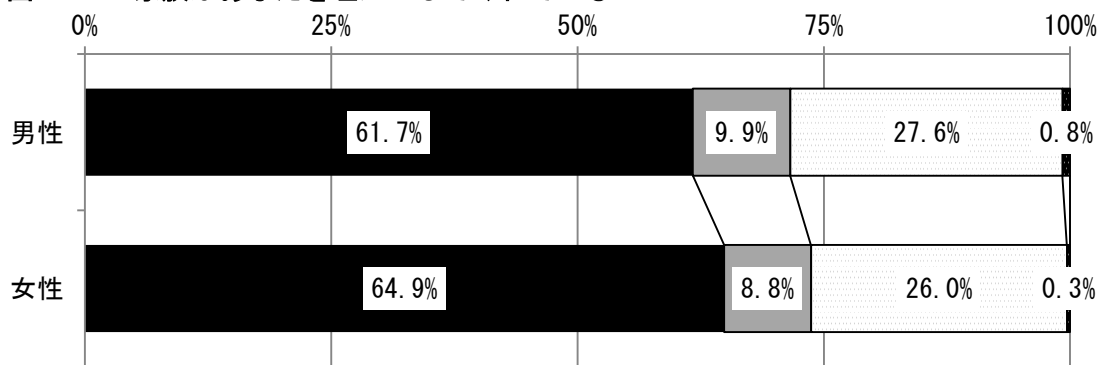


図 I-19 家族はあなたを理かいてくれている



そう思う
  そうではないと思う
  わからない
  無回答

【中学生】

図 I-20 明るく元気だ

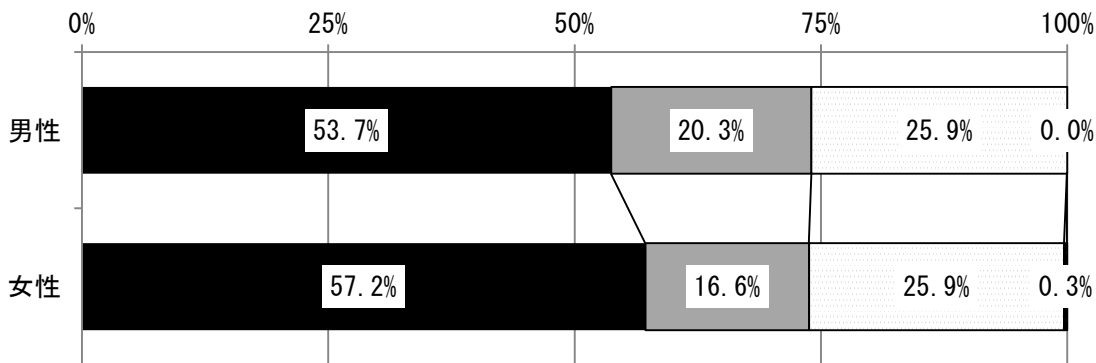


図 I-21 自分らしさをもっている

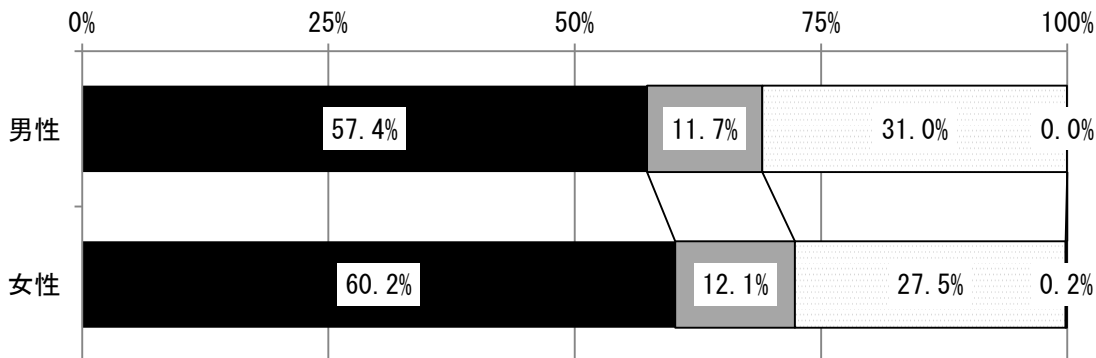


図 I-22 やさしさや思いやりがある

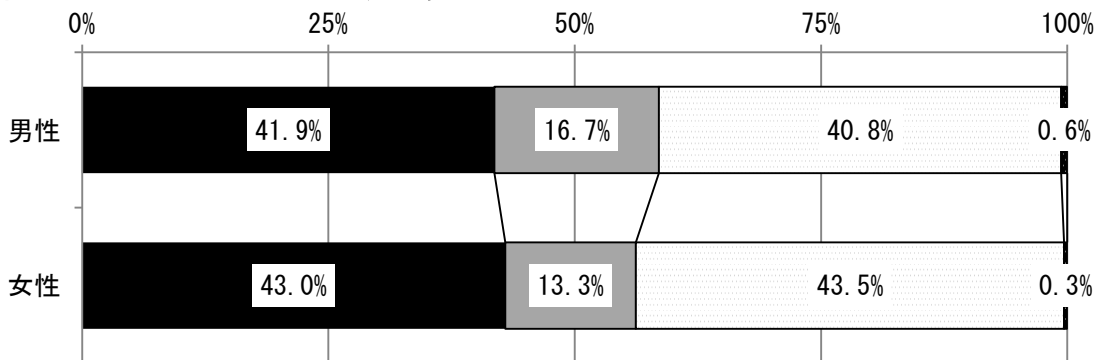
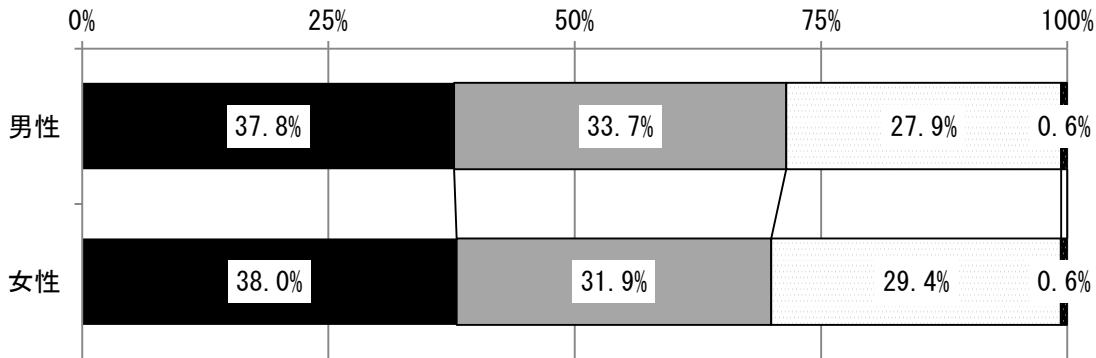


図 I-23 何事にも前向きに取り組む



そう思う
  そうではないと思う
  わからない
  無回答

図 I-24 自分の気持ちをコントロールできる

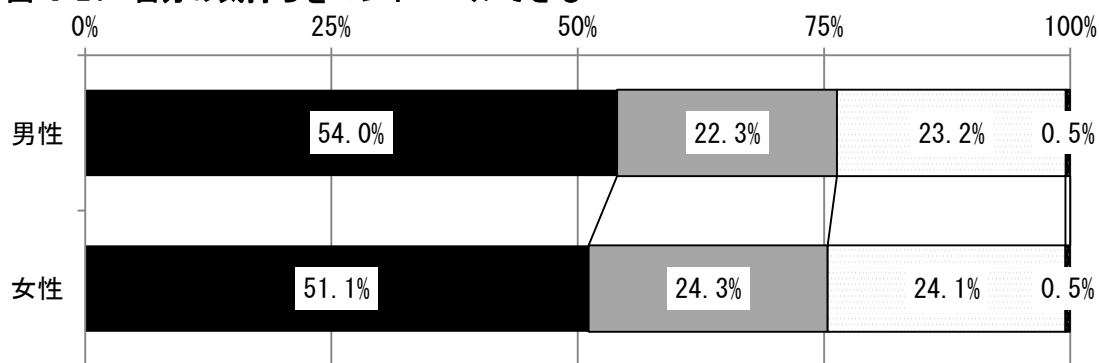


図 I-25 ねばり強く、最後までやりとげる

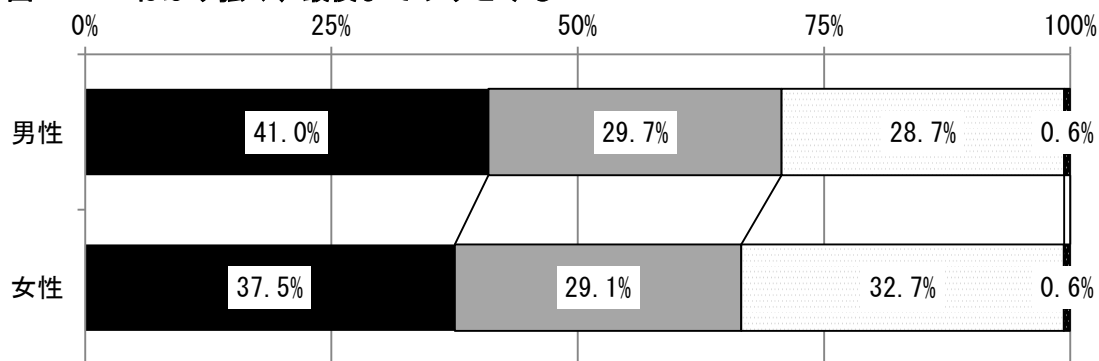


図 I-26 自分の気持ちを相手にうまく伝えられる

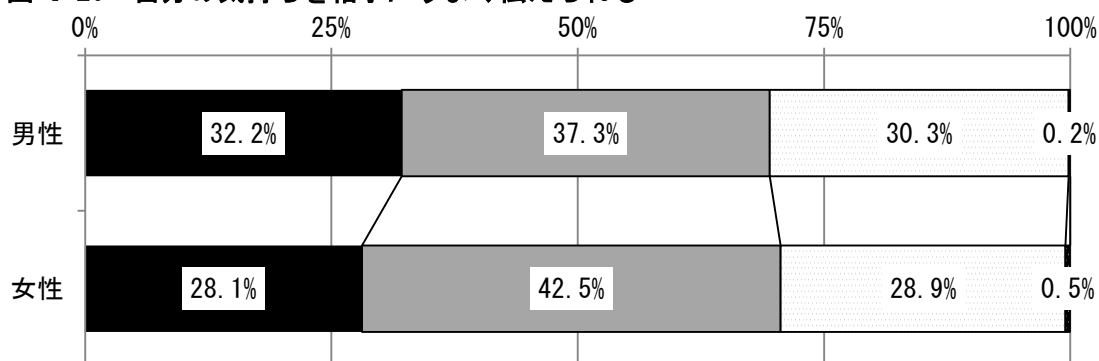
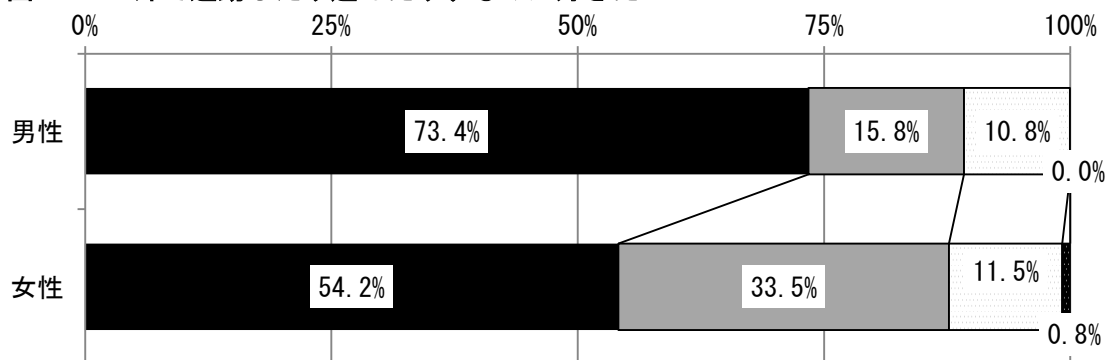


図 I-27 外で運動したり遊んだりするのが好きだ



そう思う
  そうではないと思う
  わからない
  無回答



図 I-28 自分の力でものごとを決められる

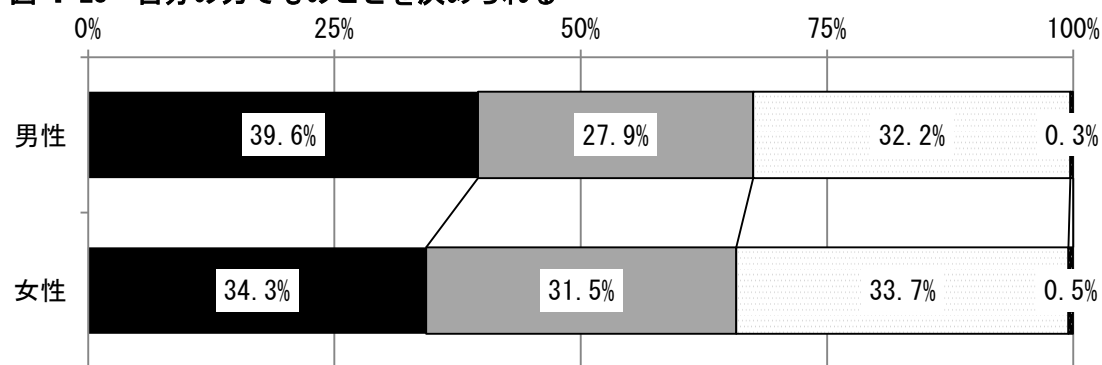


図 I-29 みんなの役に立ちたい

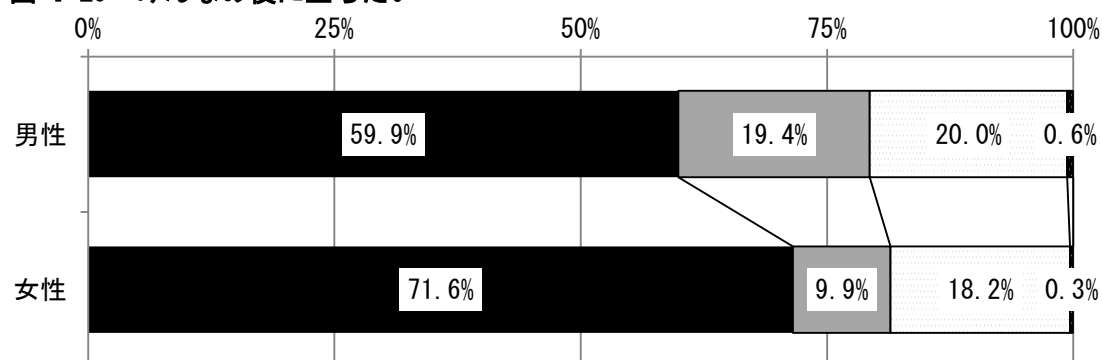


図 I-30 社会のルールやマナーを守っている

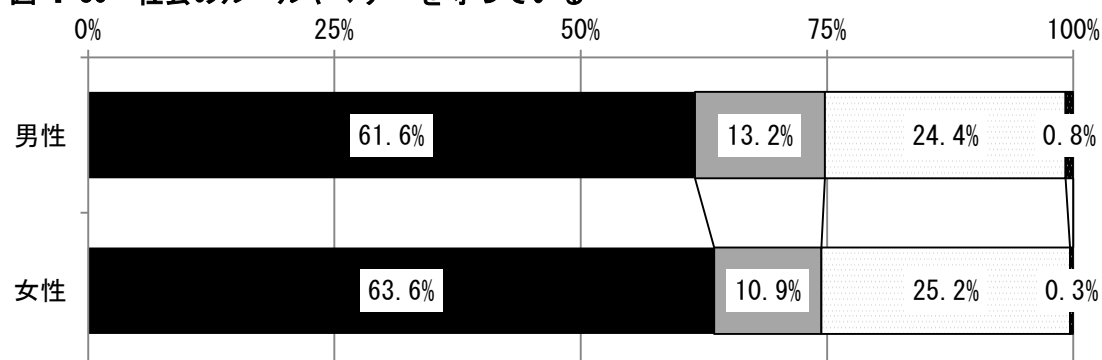
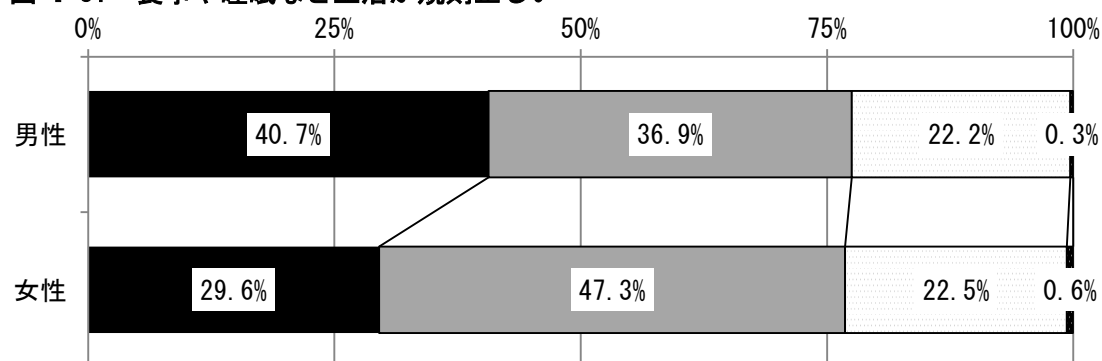


図 I-31 食事や睡眠など生活が規則正しい



そう思う
  そうではないと思う
  わからない
  無回答

図 I-32 仲の良い友だちがいる



図 I-33 だれとでもすぐ仲良くなれる

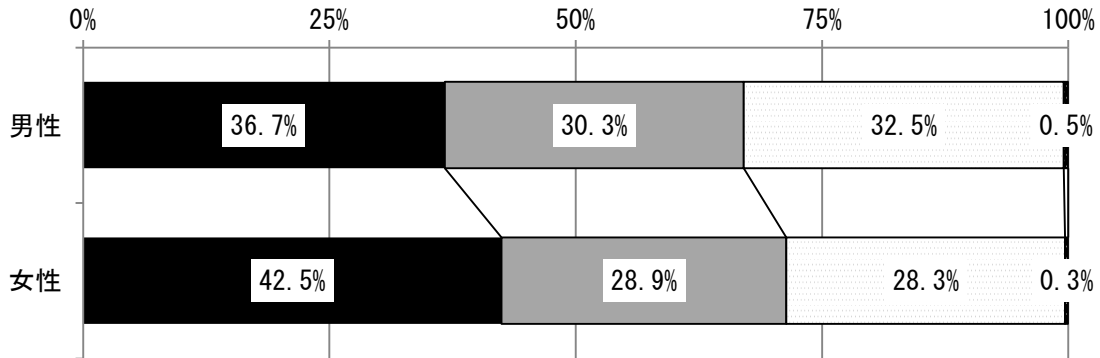


図 I-34 自分で考え、何かをつくり上げるのが得意だ

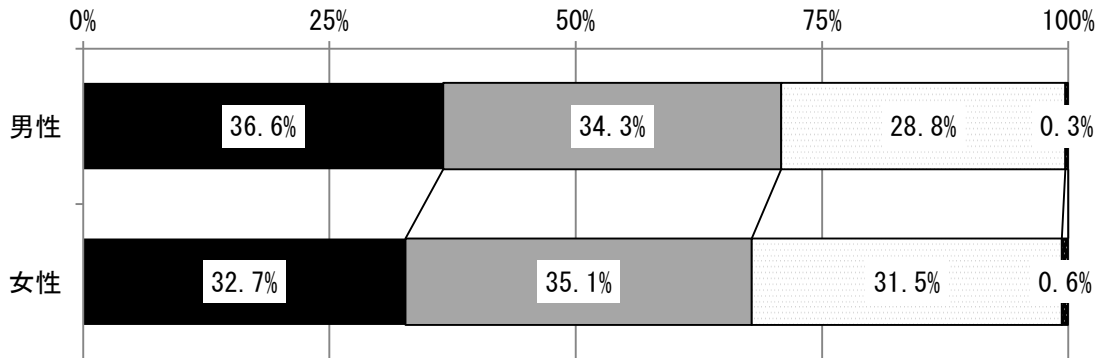
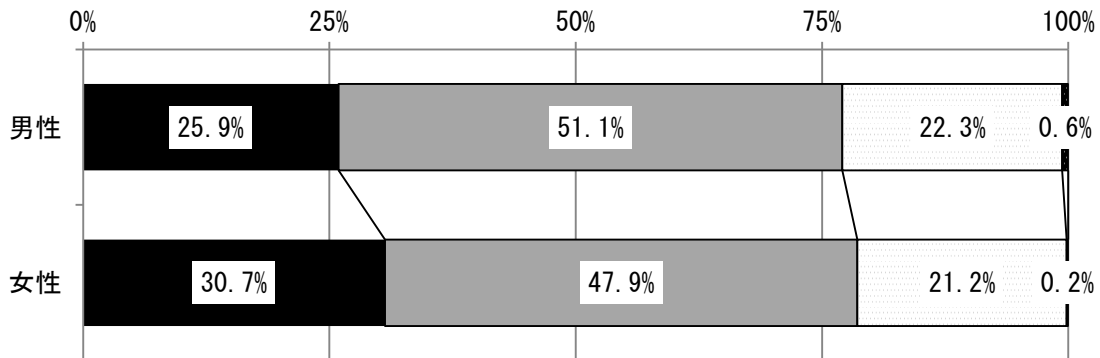


図 I-35 家で勉強する習慣がある



そう思う
  そうではないと思う
  わからない
  無回答

図 I-36 授業の内容が理解できる

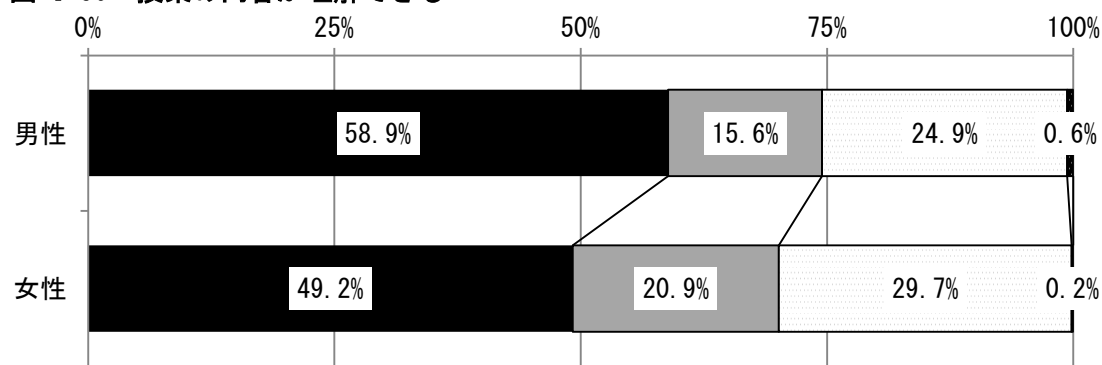


図 I-37 家族のことを理解している

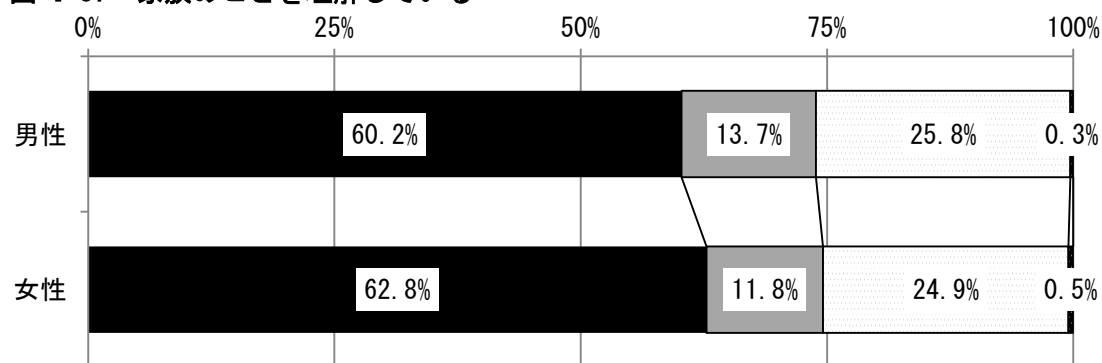
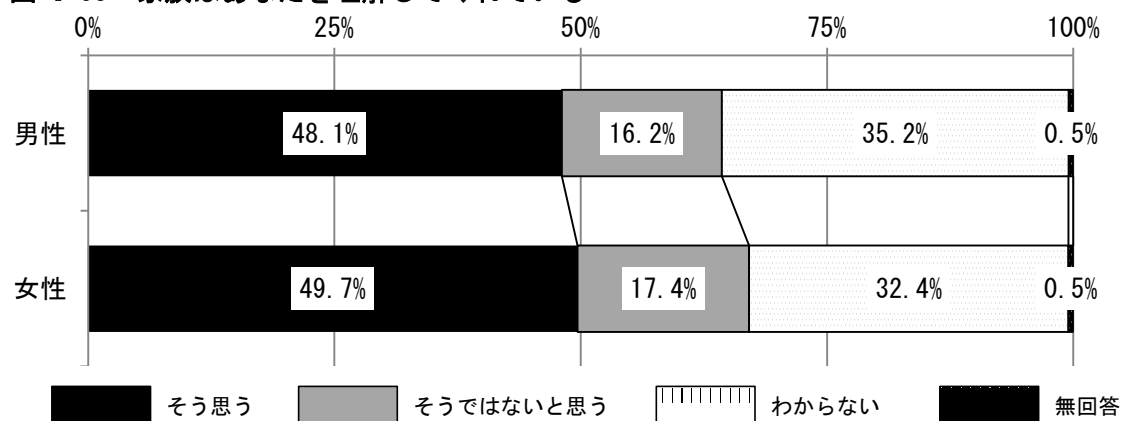


図 I-38 家族はあなたを理解してくれている



【高校生】

図 I-39 明るく元気だ

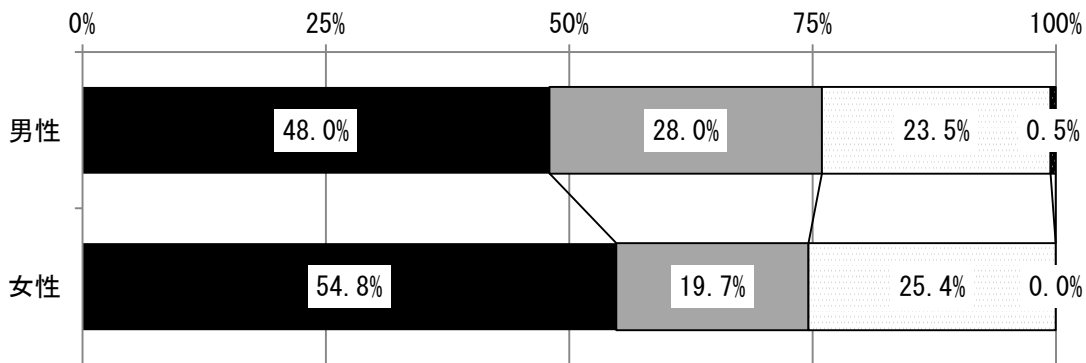


図 I-40 自分らしさをもっている

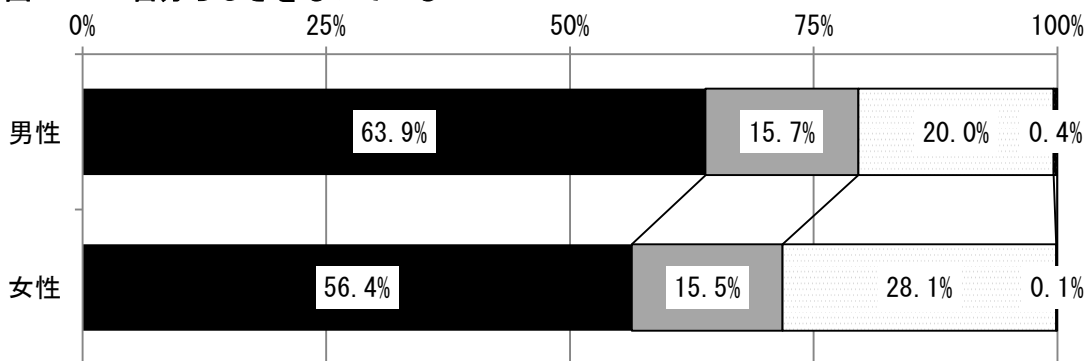


図 I-41 やさしさや思いやりがある

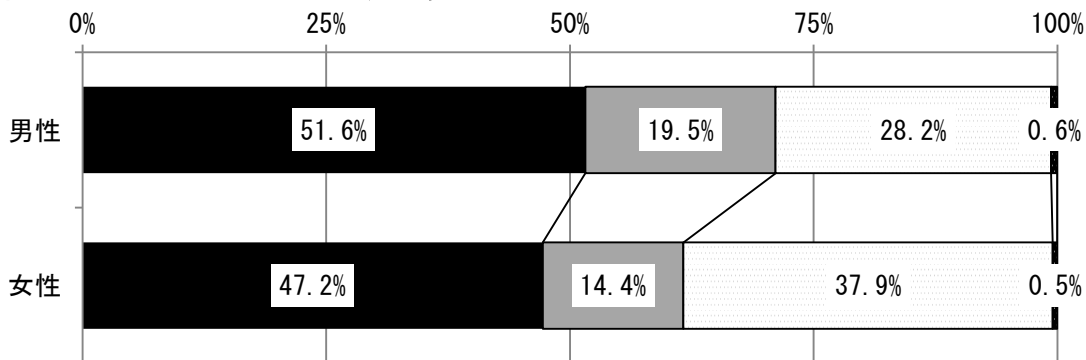
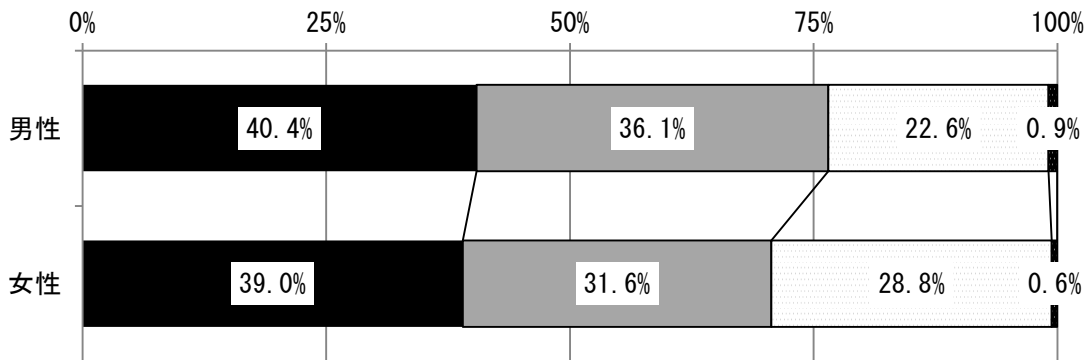


図 I-42 何事にも前向きに取り組む



そう思う
  そうではないと思う
  わからない
  無回答

図 I-43 自分の気持ちをコントロールできる

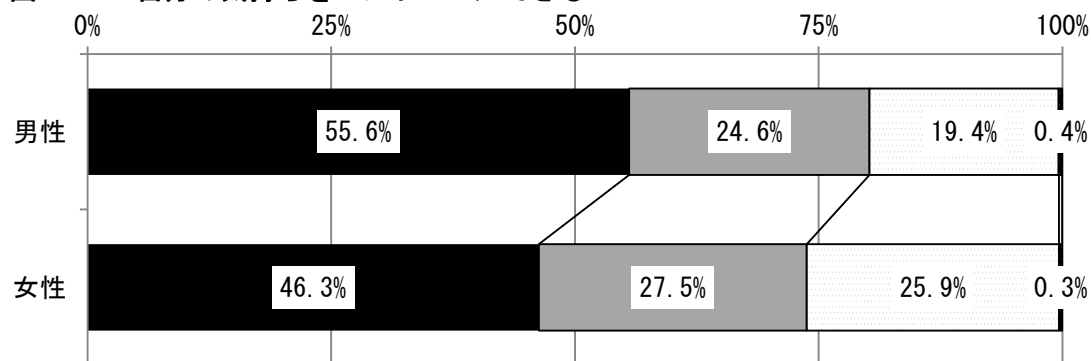


図 I-44 ねばり強く、最後までやりとげる

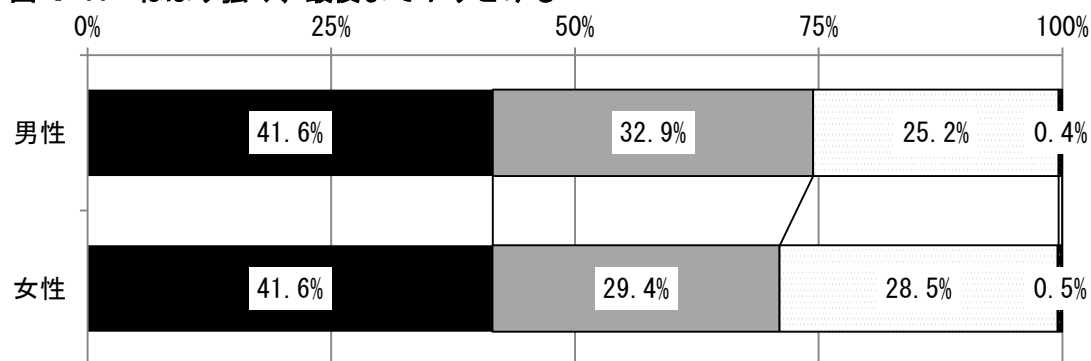


図 I-45 自分の気持ちを相手にうまく伝えられる

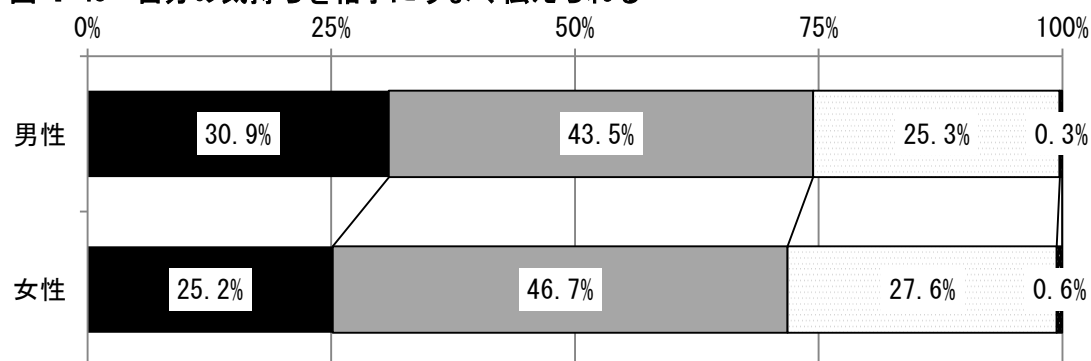


図 I-46 外で運動したり遊んだりするのが好きだ

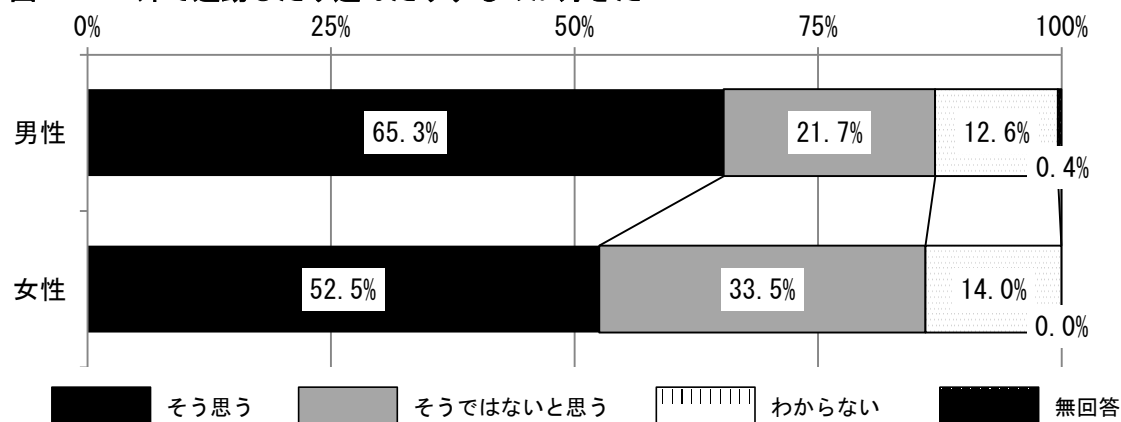


図 I-47 自分の力でものごとを決められる

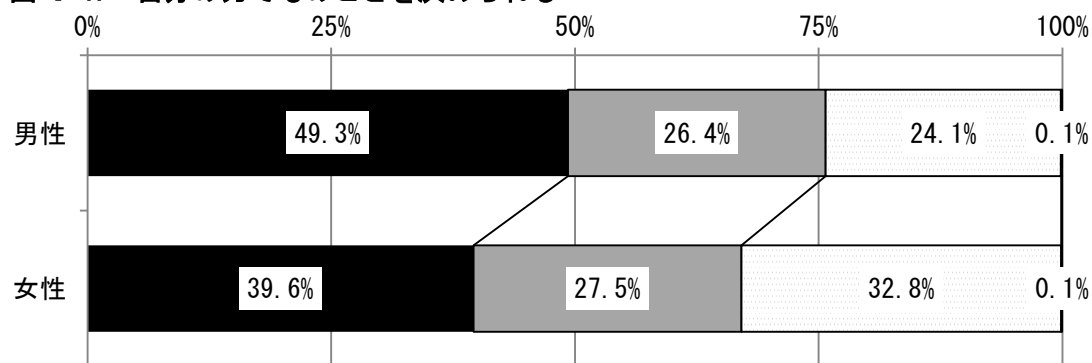


図 I-48 社会の役に立ちたい

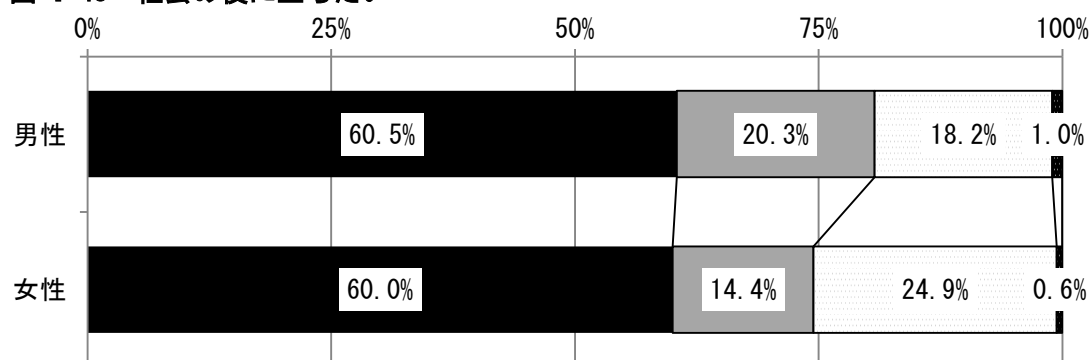


図 I-49 社会のルールやマナーを守っている

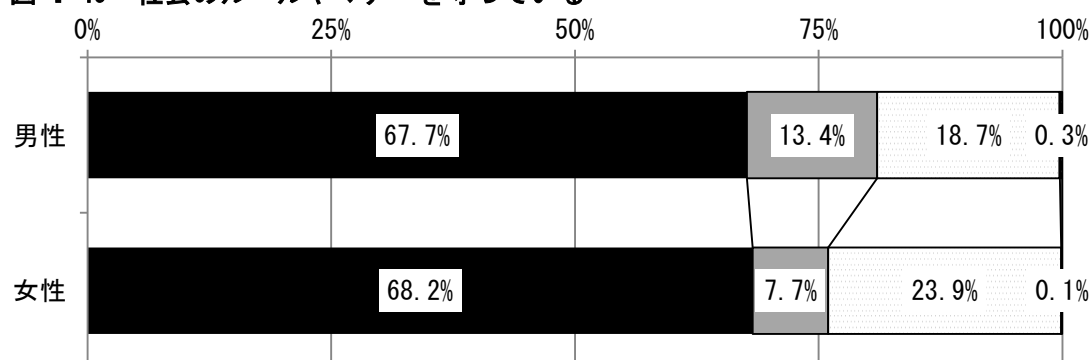
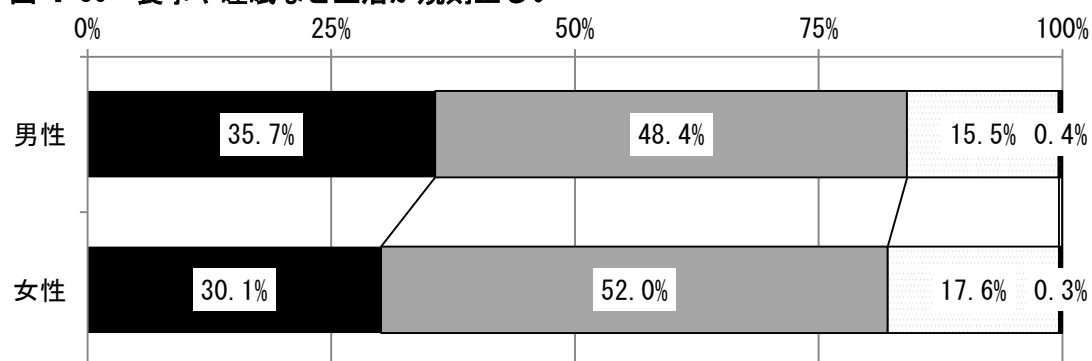


図 I-50 食事や睡眠など生活が規則正しい



そう思う
  そうではないと思う
  わからない
  無回答

図 I-51 仲の良い友だちがいる

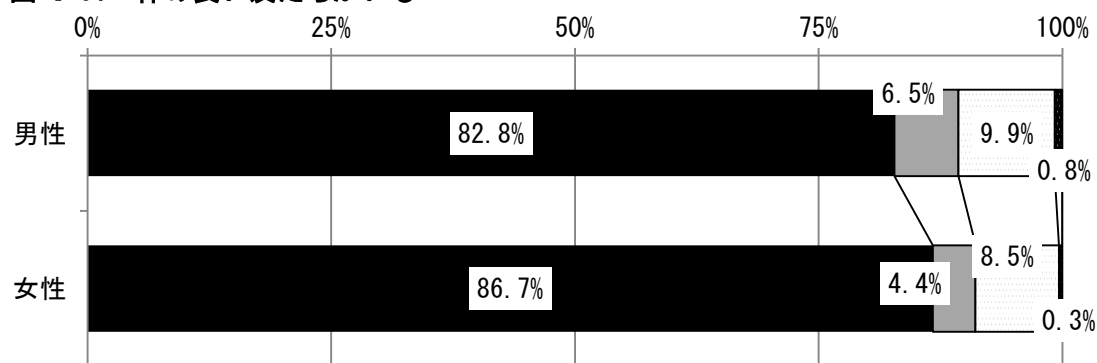


図 I-52 誰とでもすぐ仲良くなれる

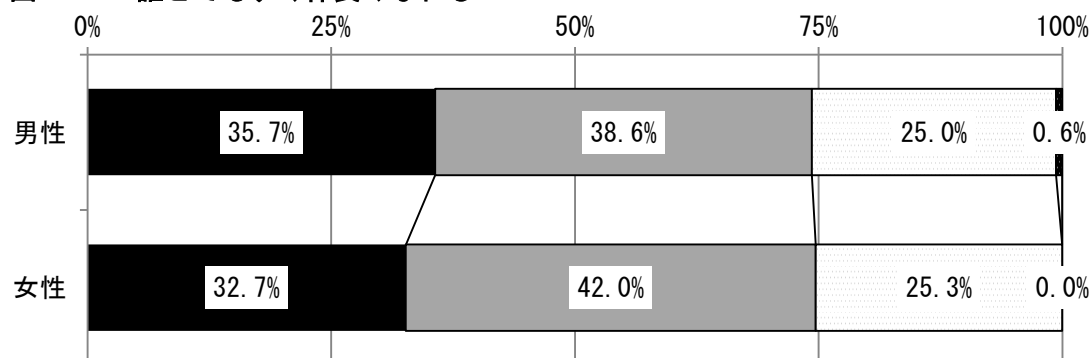


図 I-53 自分で考え、何かをつくり上げるのが得意だ

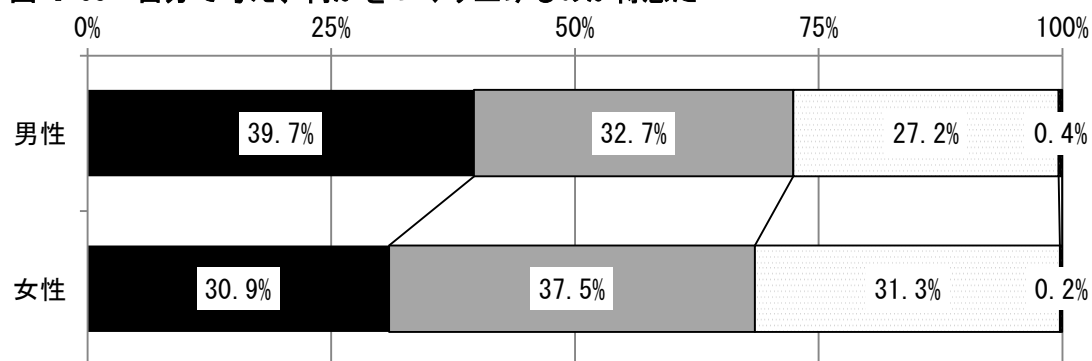
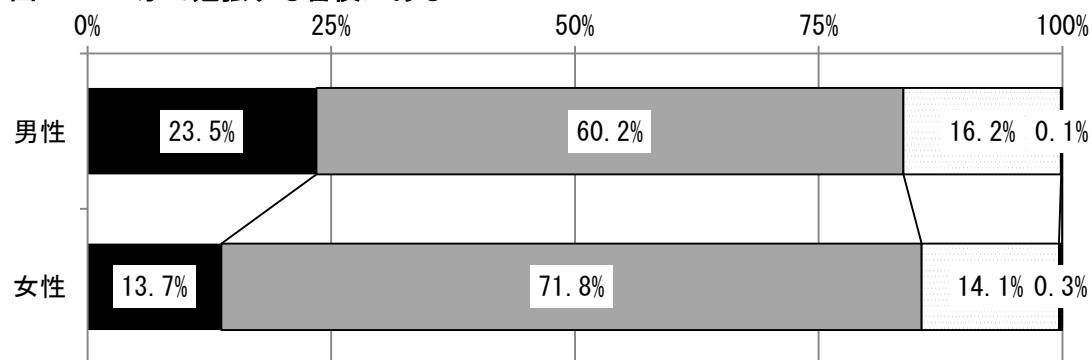


図 I-54 家で勉強する習慣がある



そう思う
  そうではないと思う
  わからない
  無回答

図 I-55 授業の内容が理解できる

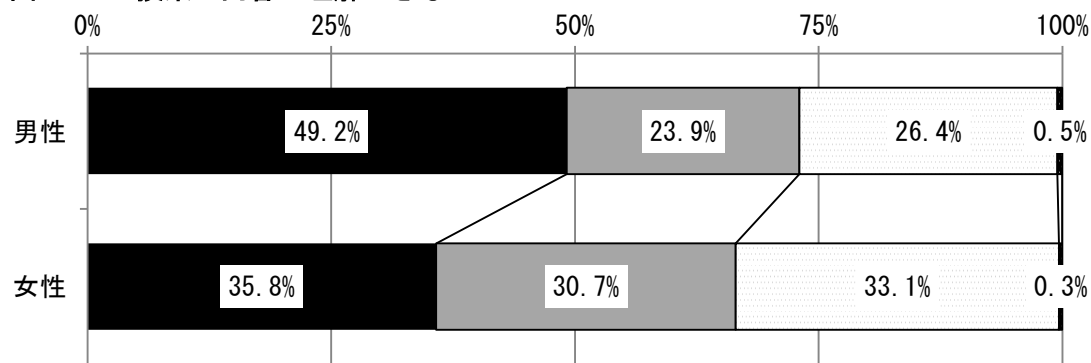


図 I-56 家族のことを理解している

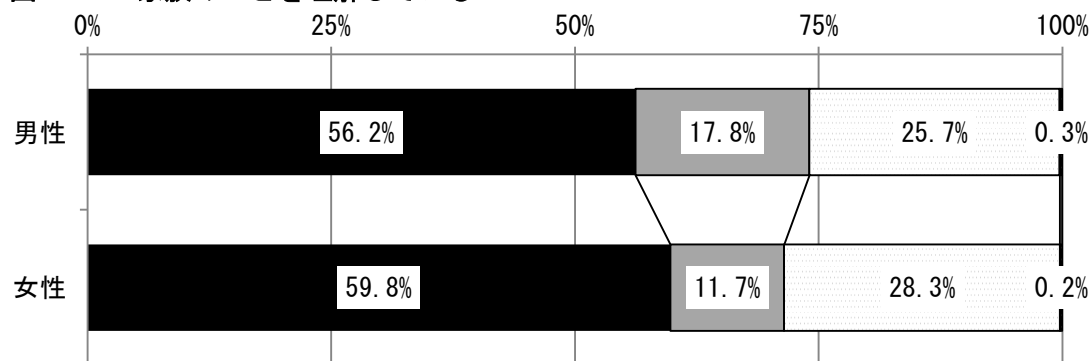
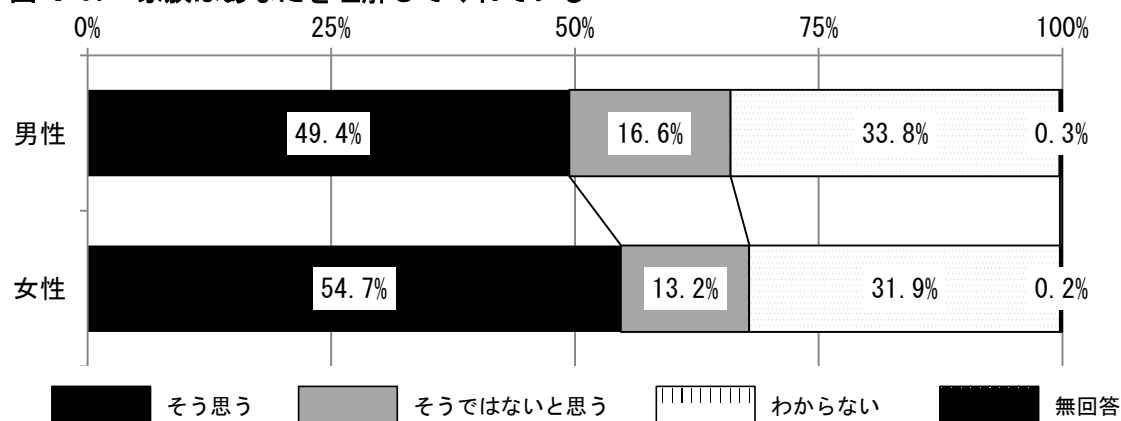


図 I-57 家族はあなたを理解してくれている





【特別支援学校児童・生徒】

図 I-58 学校が好きですか



図 I-59 いろいろなことを知りたいという気持ちをもっていますか

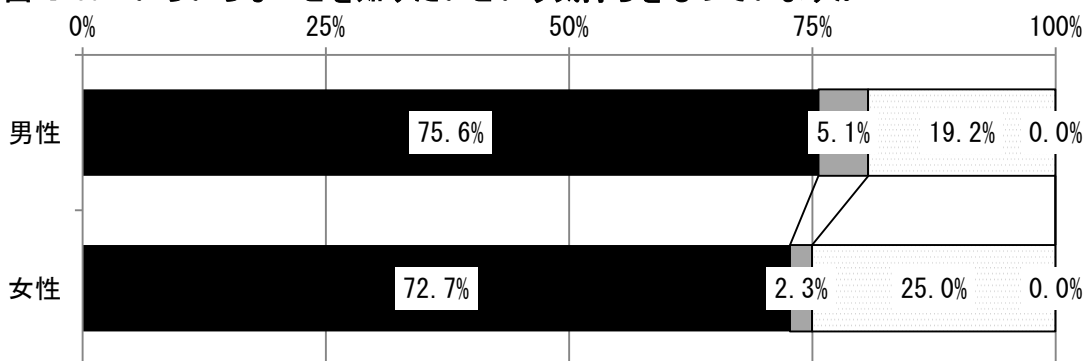


図 I-60 やり始めたことは最後までがんばりますか

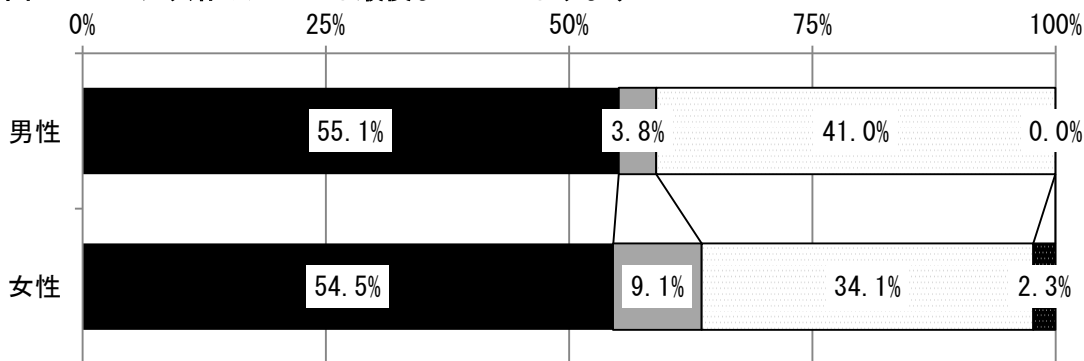
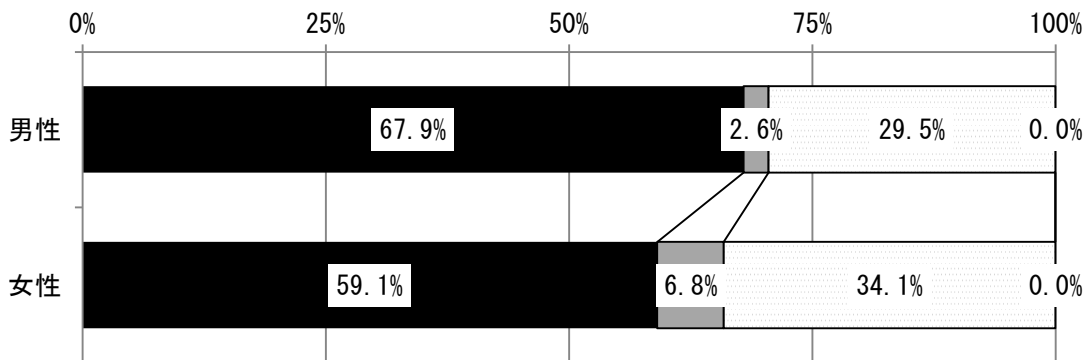


図 I-61 やさしい性格ですか



はい
  いいえ
  どちらともいえない
  無回答

図 I-62 人の役に立ちたいと思いますか

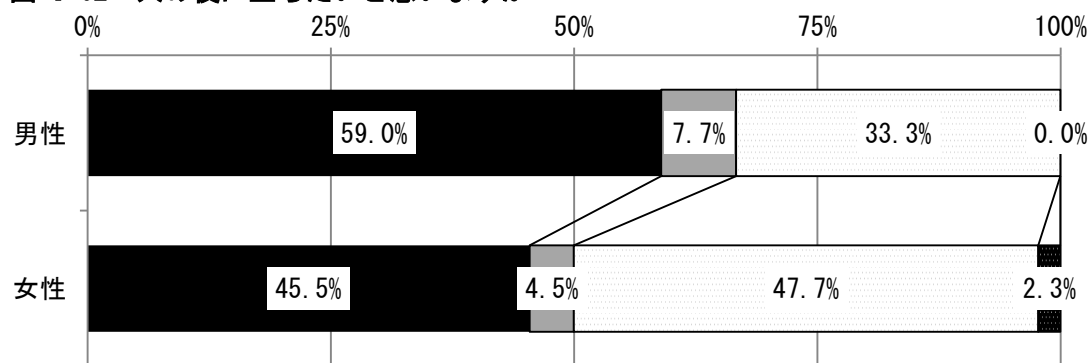


図 I-63 自分の気持ちを相手にうまく伝えられますか

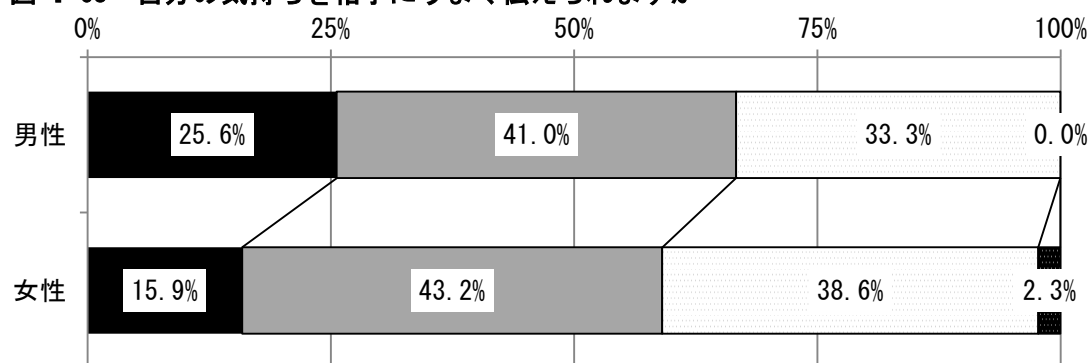
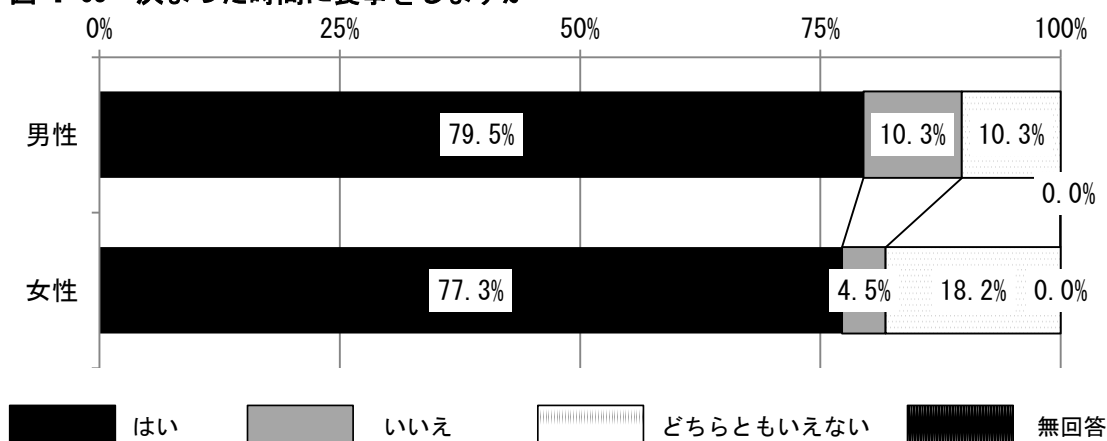


図 I-64 仲の良い友だちがいますか



図 I-65 決まった時間に食事をしますか



はい
  いいえ
  どちらともいえない
  無回答

### I-1-2 「夢中になれるとき」

小中高生に『夢中になれるとき』、特別支援学校児童・生徒に『楽しいと感じるとき』を聞いた回答の結果を性別で比較したところ、回答の割合が高かった項目は、小学生では、男子の回答は「友だちと遊んだり、話したりしているとき」(60.0%)、「スポーツをしているとき」(58.2%)、「しゅ味など自分の好きなことをしているとき」(54.5%)であり、女子の回答は「友だちと遊んだり、話したりしているとき」(69.4%)、「しゅ味など自分の好きなことをしているとき」(66.7%)、「面白いじゅ業を受けているとき」(33.7%)であった。

中学生では、男子の回答は「友だちと遊んだり、話したりしているとき」(67.2%)、「しゅ味など自分の好きなことをしているとき」(63.9%)、「スポーツをしているとき」(56.9%)であり、女子の回答は「趣味など自分の好きなことをしているとき」(77.2%)、「友だちと遊んだり、話したりしているとき」(76.8%)、「スポーツをしているとき」(30.4%)であった。

高校生では、男子の回答は「趣味など自分の好きなことをしているとき」(66.5%)、「友だちと遊んだり、話したりしているとき」(65.0%)、「スポーツをしているとき」(49.7%)であり、女子の回答は「趣味など自分の好きなことをしているとき」(79.4%)、「友だちと遊んだり、話したりしているとき」(75.8%)、「学校の仲間と行事に取り組んでいるとき」(30.3%)であった。

特別支援学校児童・生徒では、男子の回答は「自分の好きなことをしているとき」(75.6%)、「友だちといっしょにいるとき」(52.6%)、「ゲームをしているとき」(37.2%)であり、女子の回答は「自分の好きなことをしているとき」(75.0%)、「友だちといっしょにいるとき」(54.5%)、「好きな先生の授業を受けているとき」(43.2%)であった。(図 I-66～69 参照)

図 I-66 夢中になれるとき(小学生)

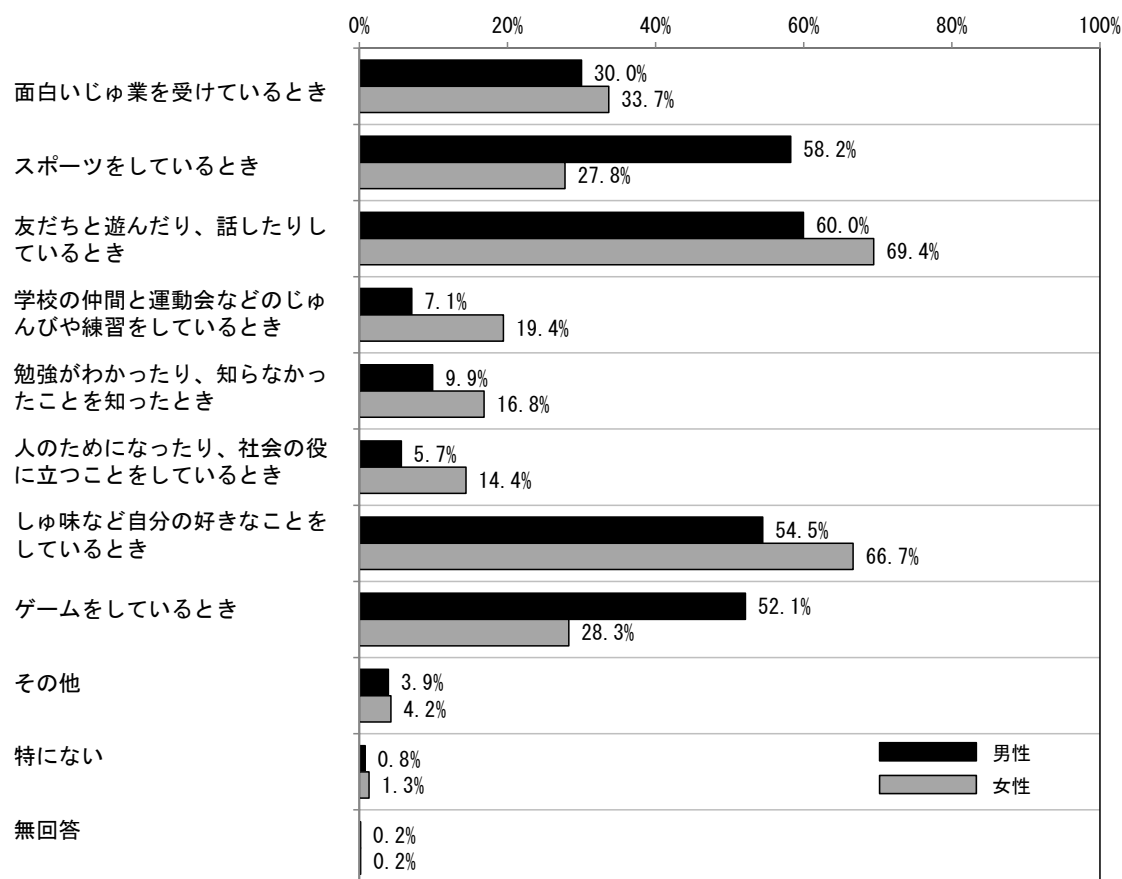


図 I-67 夢中になれるとき(中学生)

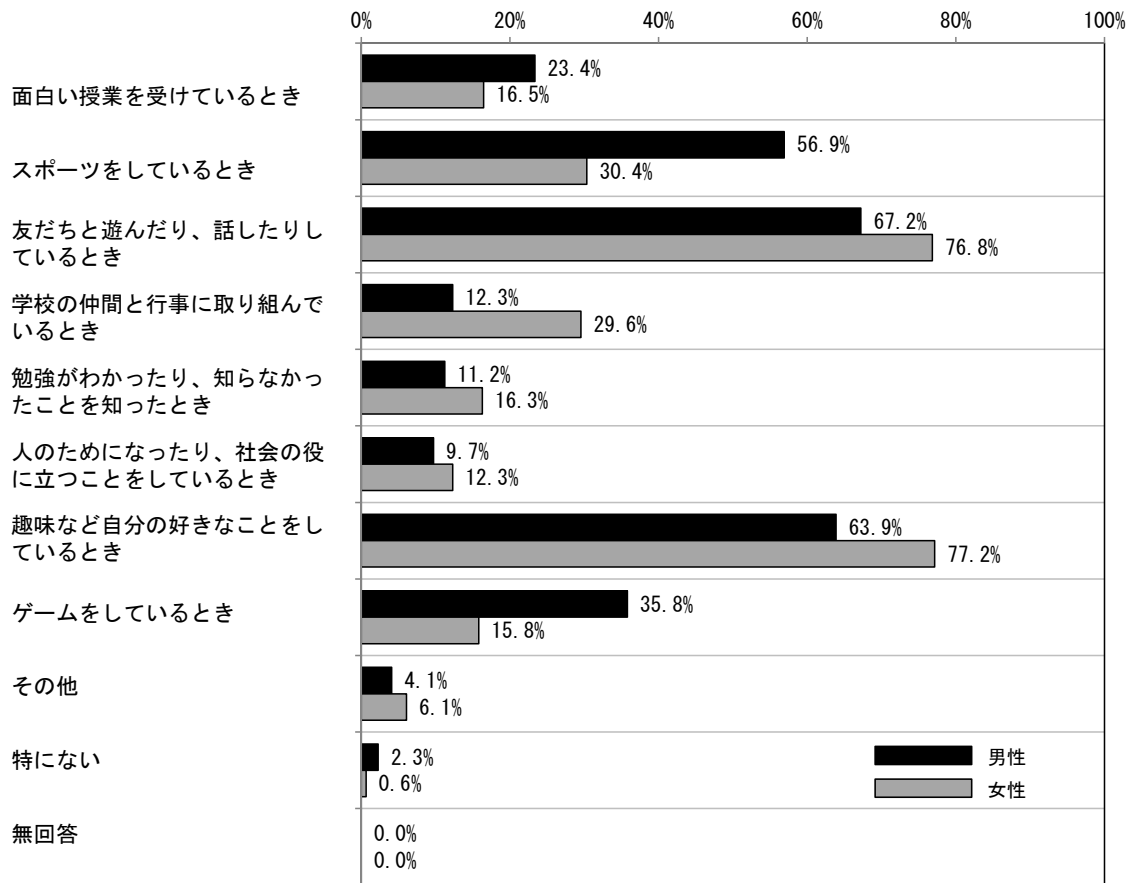


図 I-68 夢中になれるとき(高校生)

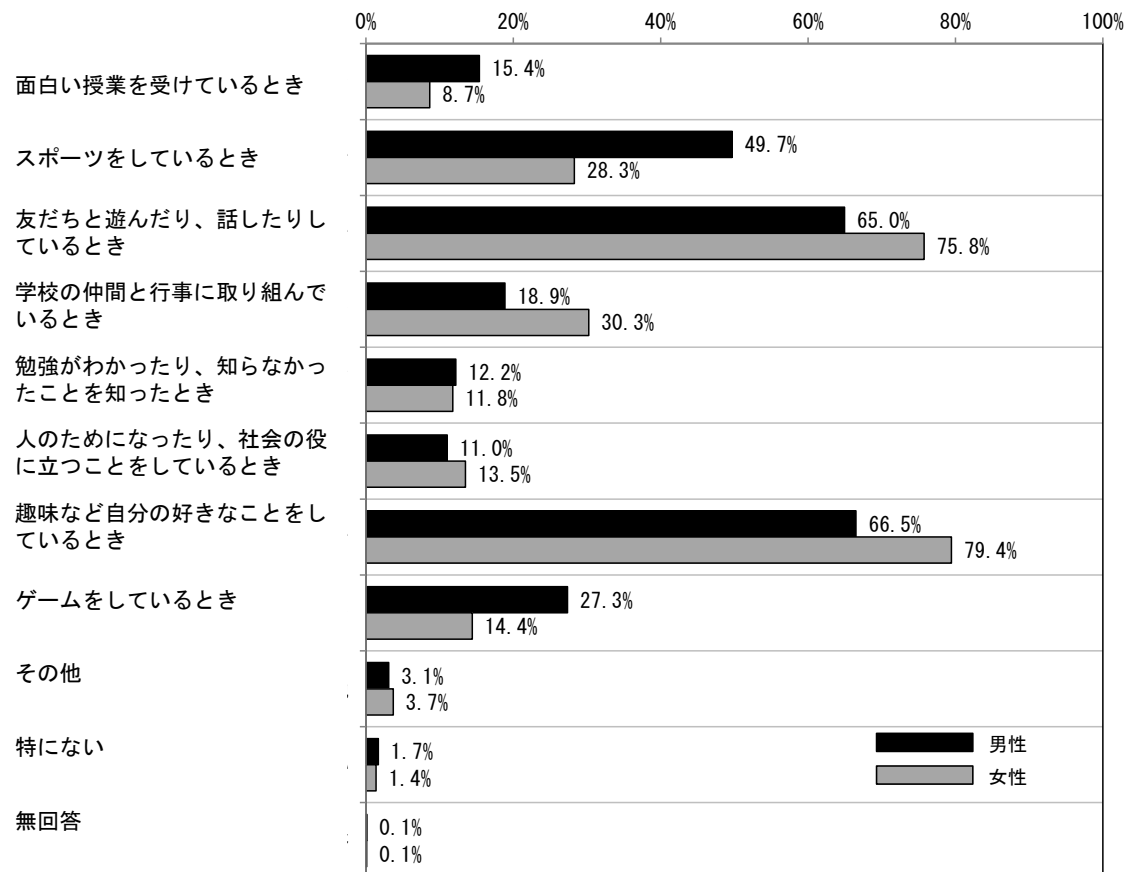
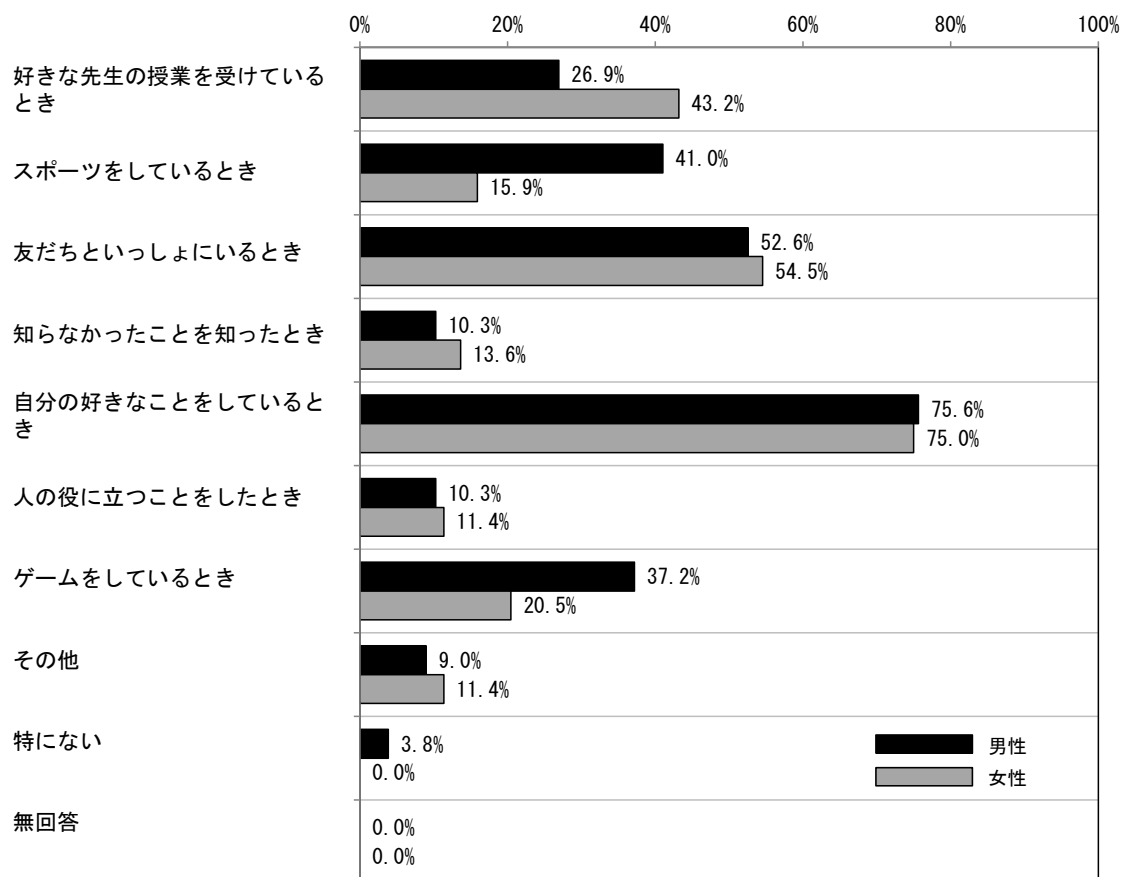


図 I-69 楽しいと感じるとき(特別支援学校児童・生徒)



### I-1-3 「悩んでいること」

『悩んでいること』について児童・生徒に聞いた回答の結果を性別で比較したところ、回答の割合が高かった項目は、小学生では、男子の回答は「なやみはない」(50.4%)、「しょう来のこと」(32.5%)、「友だちのこと」(13.5%)であり、女子の回答は「なやみはない」(39.5%)、「友だちのこと」(25.3%)、「しょう来のこと」(26.0%)であった。

中学生では、男子の回答は「将来のこと」(45.1%)、「悩みはない」(40.8%)、「友だちのこと」(12.0%)、「学校のこと」(12.0%)であり、女子の回答は「将来のこと」(45.5%)、「友だちのこと」(27.2%)、「悩みはない」(24.4%)であった。

高校生では、男子の回答は「将来のこと」(60.7%)、「悩みはない」(22.6%)、「学校のこと」(15.3%)であり、女子の回答は「将来のこと」(66.2%)、「友だちのこと」(19.6%)、「学校のこと」(18.8%)であった。

特別支援学校児童・生徒では、男子の回答は「将来のこと」(29.5%)、「悩みはない」(23.1%)、「その他」(11.5%)であり、女子の回答は「悩みはない」(29.5%)、「将来のこと」(22.7%)、「学校のこと」(11.4%)、「その他」(11.4%)であった。(図 I-70~73 参照)

図 I-70 なやんでいること(小学生)

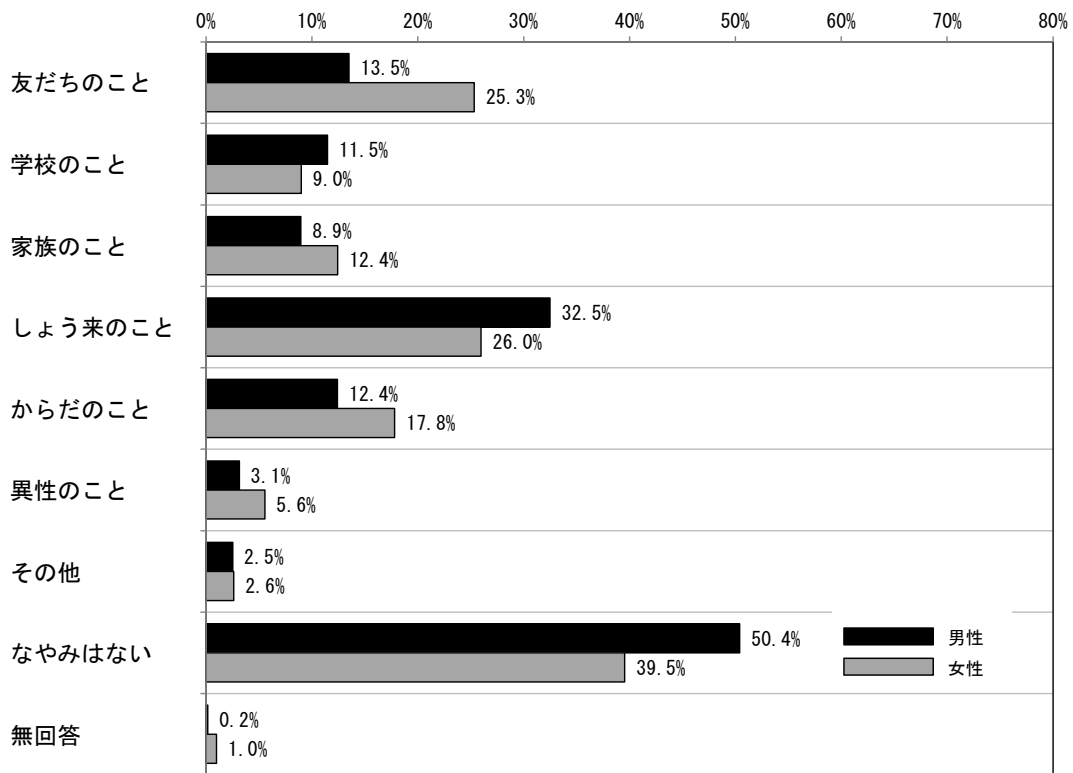


図 I-71 悩んでいること(中学生)

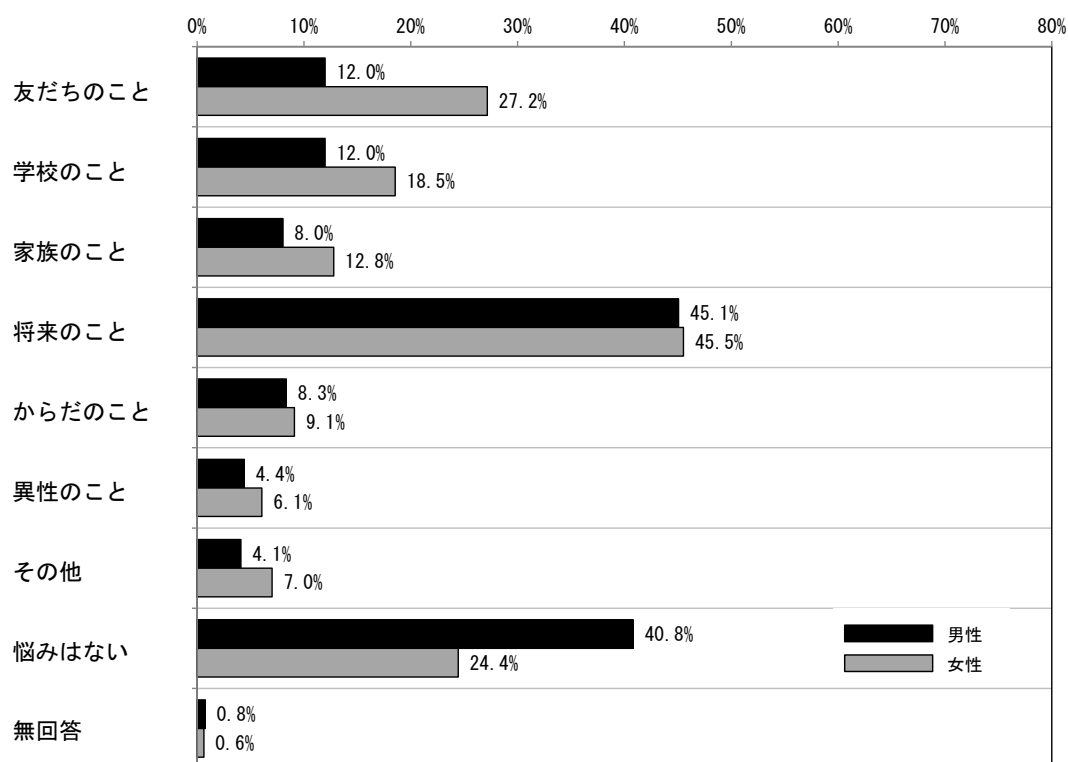


図 I-72 悩んでいること(高校生)

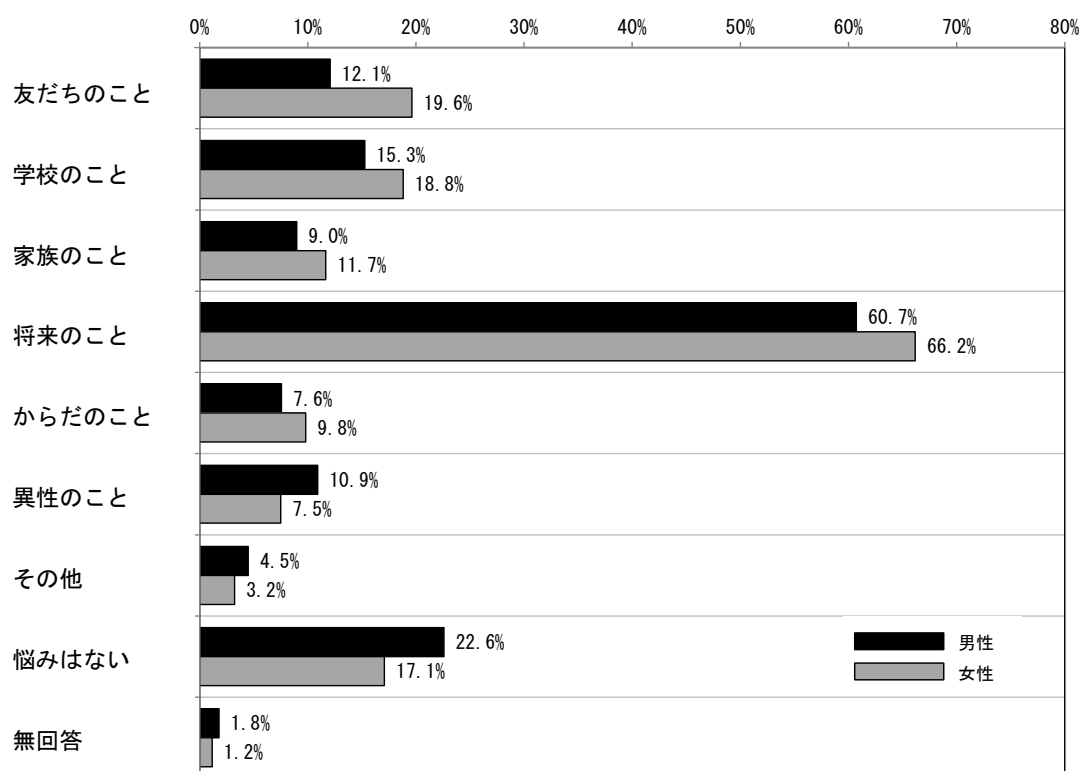
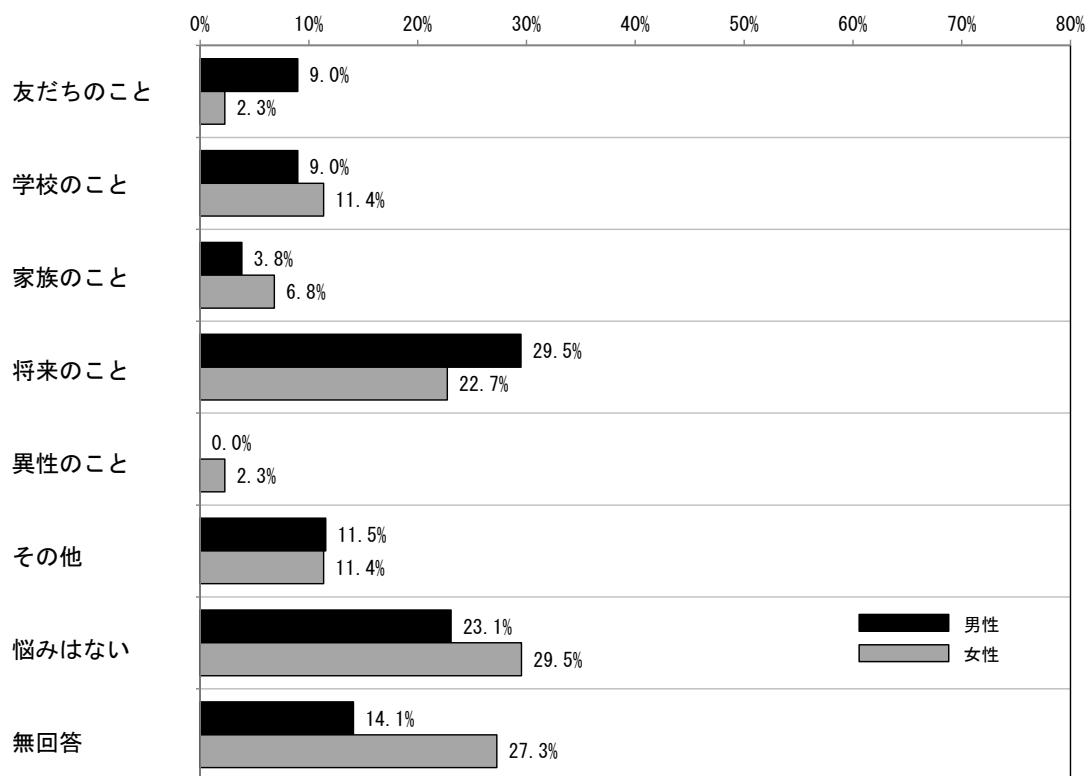


図 I-73 悩んでいること(特別支援学校児童・生徒)





#### I-1-4 「相談相手」

『相談相手』について児童・生徒に聞いた回答の結果を性別で比較したところ、回答の割合が高かった項目は、小学生では、男子の回答は「親」(74.3%)、「同級の友だち」(50.9%)、「学校の先生」(22.6%)であり、女子の回答は「親」(74.3%)、「同級の友だち」(65.8%)、「学校の先生」(27.3%)であった。

中学生では、男子の回答は「同級の友だち」(62.5%)、「親」(50.4%)、「学校の先生」(18.2%)であり、女子の回答は「同級の友だち」(74.9%)、「親」(54.6%)、「兄弟姉妹」(21.7%)であった。

高校生では、男子の回答は「同級の友だち」(62.5%)、「親」(48.5%)、「兄弟姉妹」(14.1%)であり、女子の回答は「同級の友だち」(75.2%)、「親」(58.3%)、「兄弟姉妹」(21.4%)であった。

特別支援学校児童・生徒では、男子の回答は「家族」(67.9%)、「学校の先生」(48.7%)、「同級の友だち」(21.8%)であり、女子の回答は「家族」(54.5%)、「学校の先生」(27.3%)、「同級の友だち」(25.0%)であった。(図 I-74~77 参照)

図 I-74 相談相手(小学生)

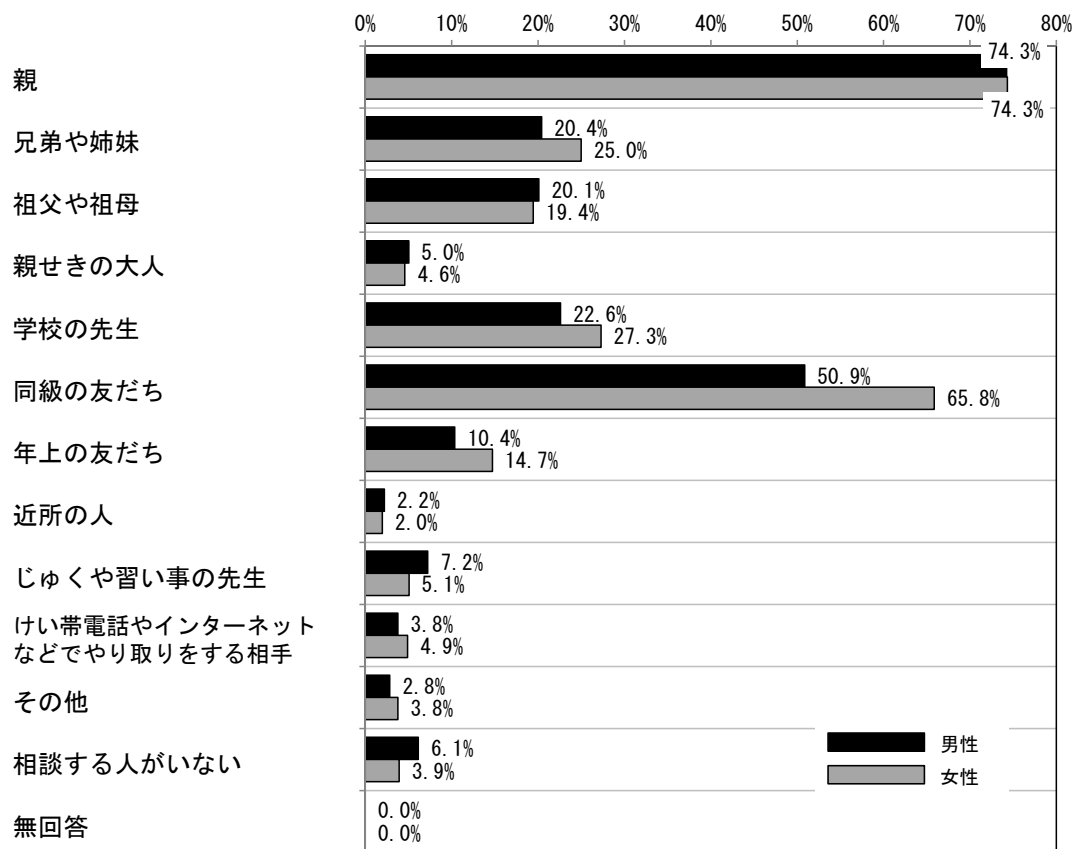


図 I-75 相談相手(中学生)

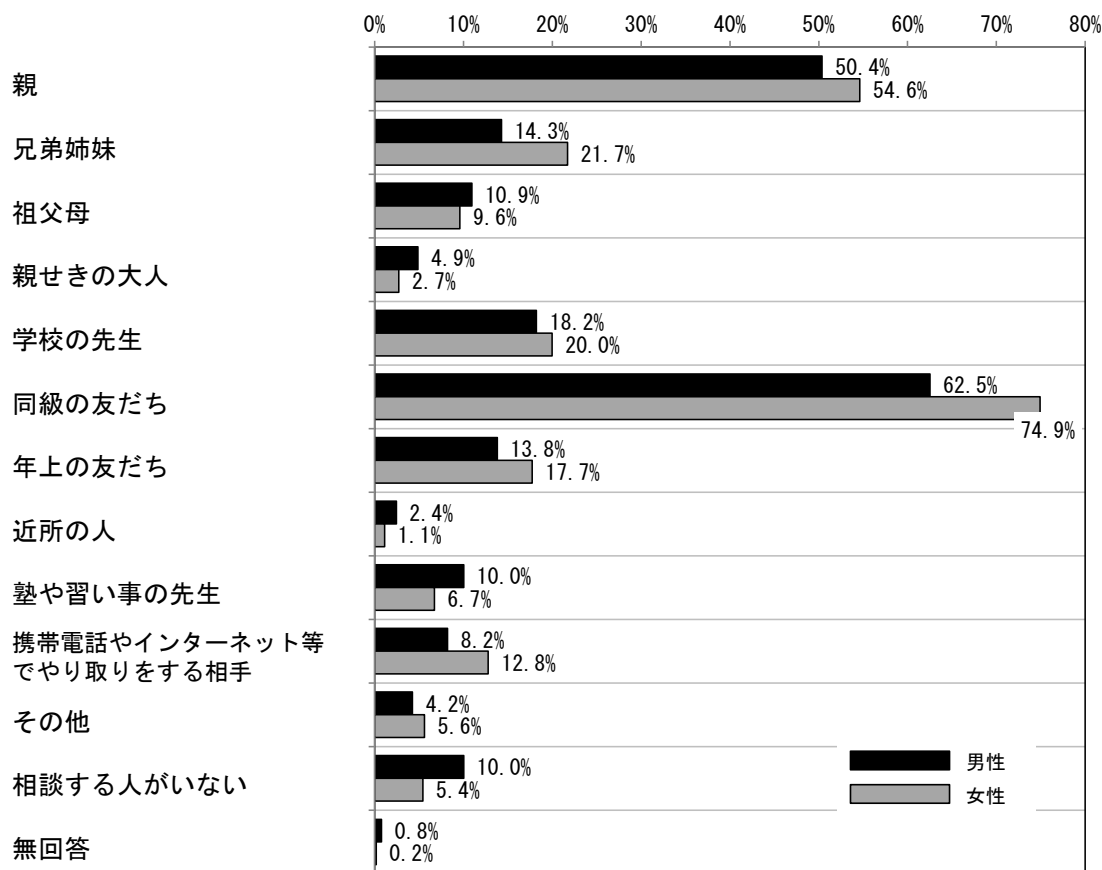


図 I-76 相談相手(高校生)

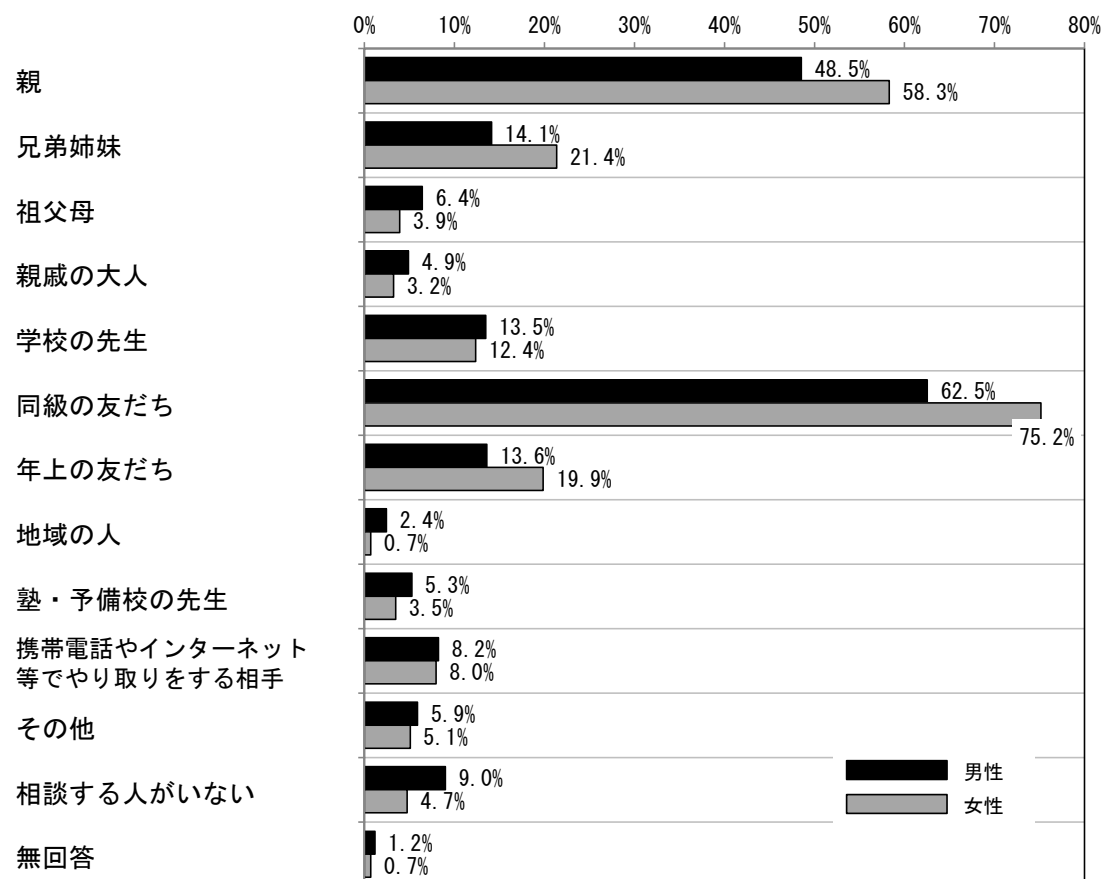
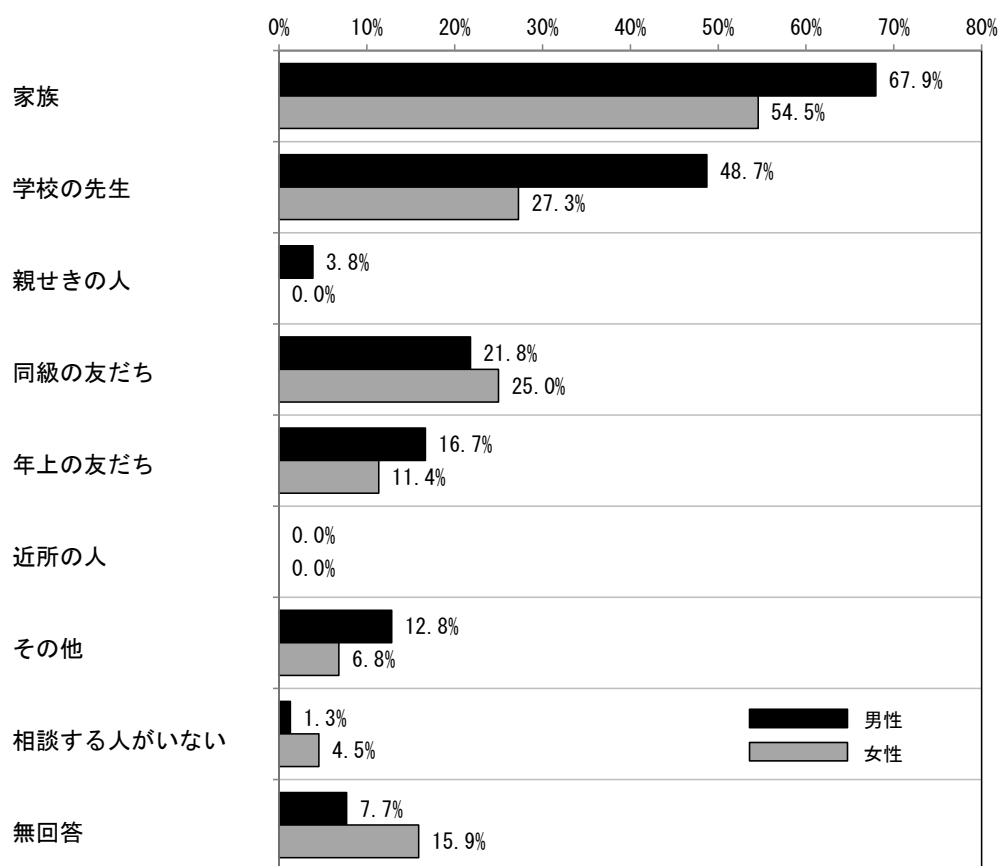


図 1-77 相談相手(特別支援学校児童・生徒)



#### I-1-5 「自分とかかわりの深いもの」

『自分とかかわりの深いもの』について児童・生徒に聞いた回答の結果を性別で比較したところ、回答の割合が高かった項目は、小学生では、男子の回答は「家族」(86.7%)、「友人」(74.9%)、「ゲーム」(39.6%)であり、女子の回答は「家族」(91.3%)、「友人」(77.8%)、「学校の先生」(24.8%)であった。

中学生では、男子の回答は「友人や先輩」(68.7%)、「家族」(67.8%)、「ゲーム」(30.0%)であり、女子の回答は「友人や先輩」(76.0%)、「家族」(70.0%)、「携帯電話やスマートフォン」(38.3%)であった。

高校生では、男子の回答は「友人や先輩」(71.5%)、「家族」(57.9%)、「携帯電話やスマートフォン」(42.4%)であり、女子の回答は「友人や先輩」(80.8%)、「家族」(73.8%)、「携帯電話やスマートフォン」(51.8%)であった。

特別支援学校児童・生徒では、男子の回答は「家族」(82.1%)、「テレビ」(43.6%)、「本」(34.6%)であり、女子の回答は「家族」(75.0%)、「テレビ」(45.5%)、「本」(29.5%)であった。(図 I-78～83 参照)

図 I-78 自分とかかわりの深いもの(小学生)

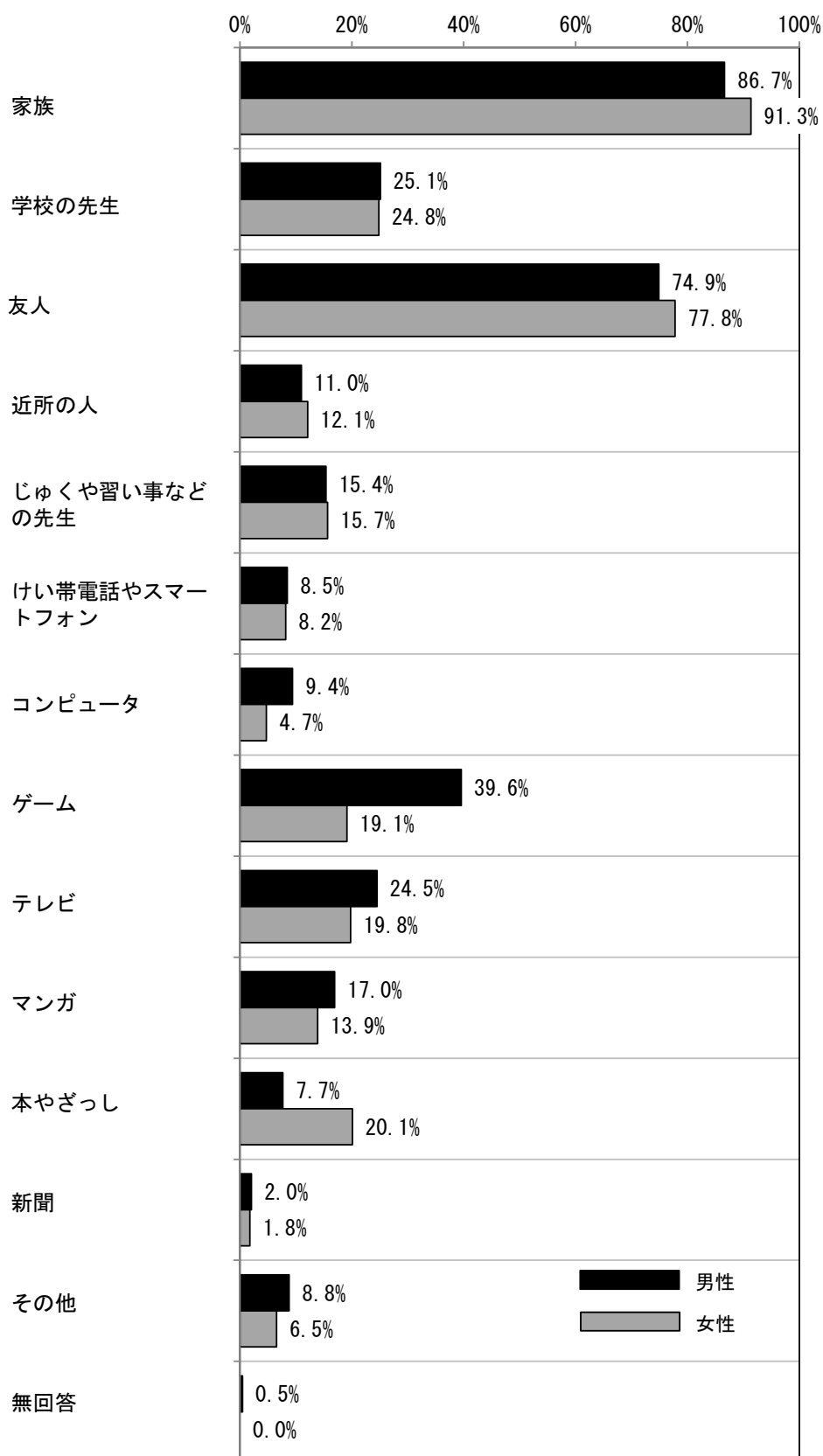


図 I-79 自分とかかわりの深いもの(中学生)

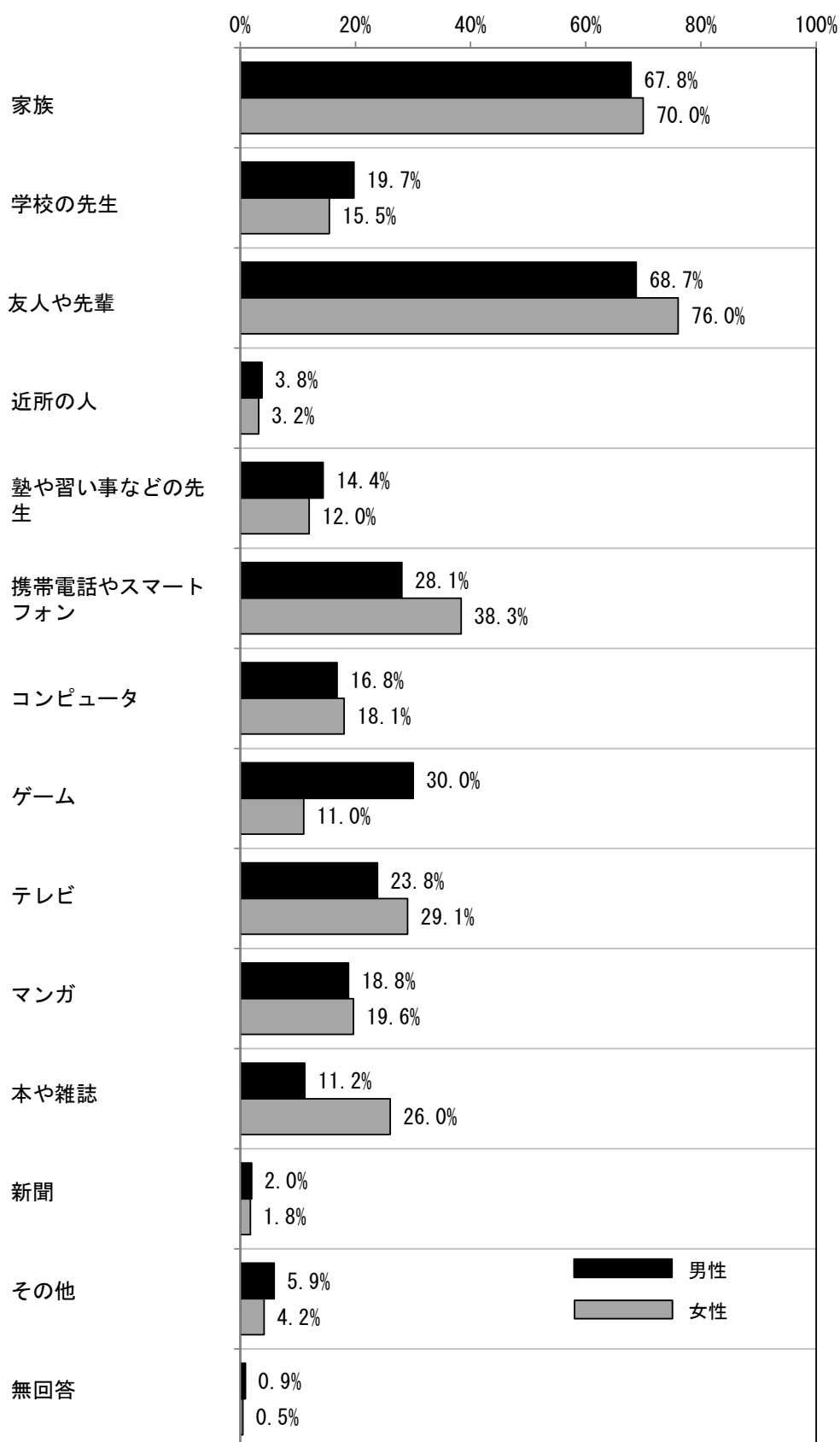


図 I-80 自分とかかわりの深いもの(高校生)

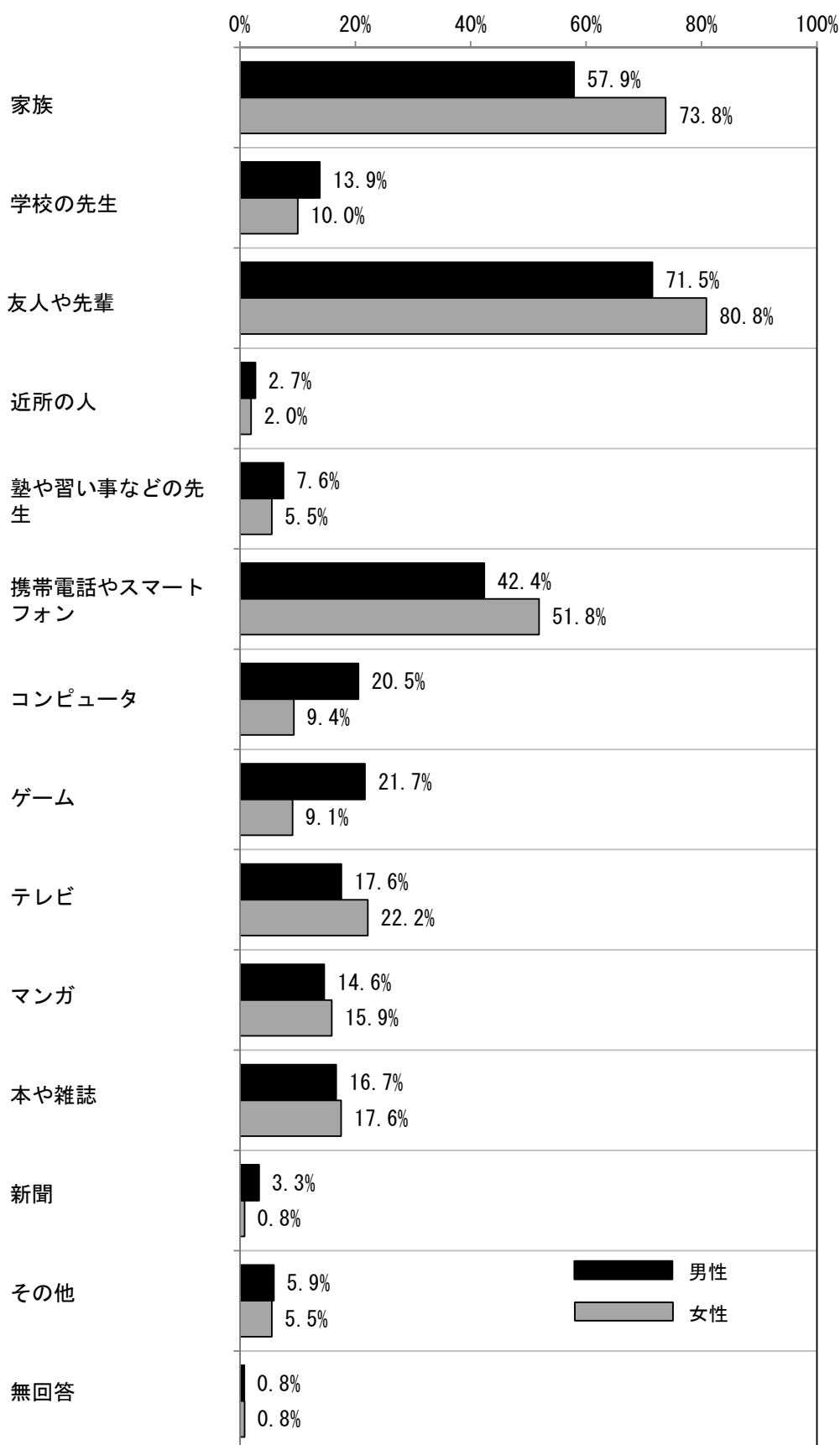


図 I-81 自分とかかわりの深いもの(特別支援学校児童・生徒①)

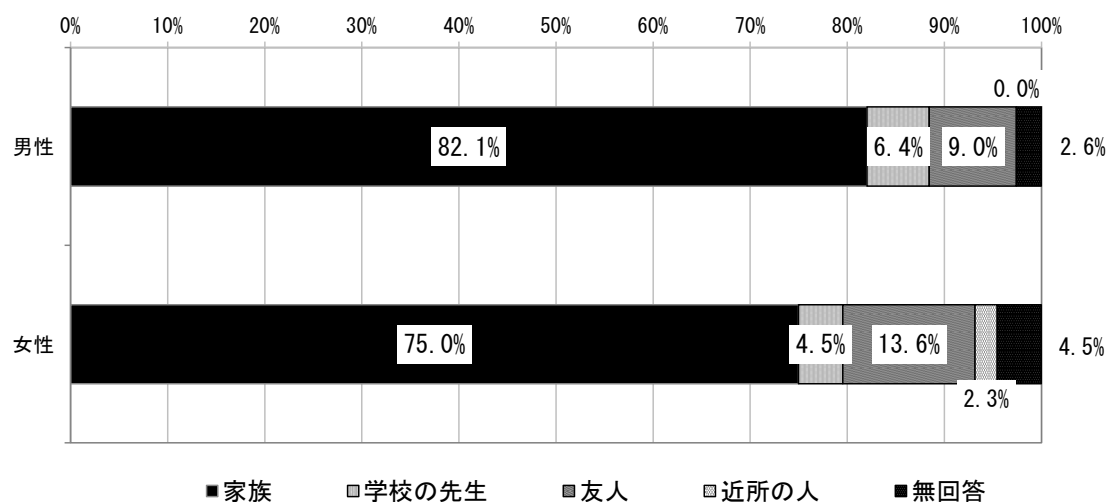


図 I-82 自分とかかわりの深いもの(特別支援学校児童・生徒②)

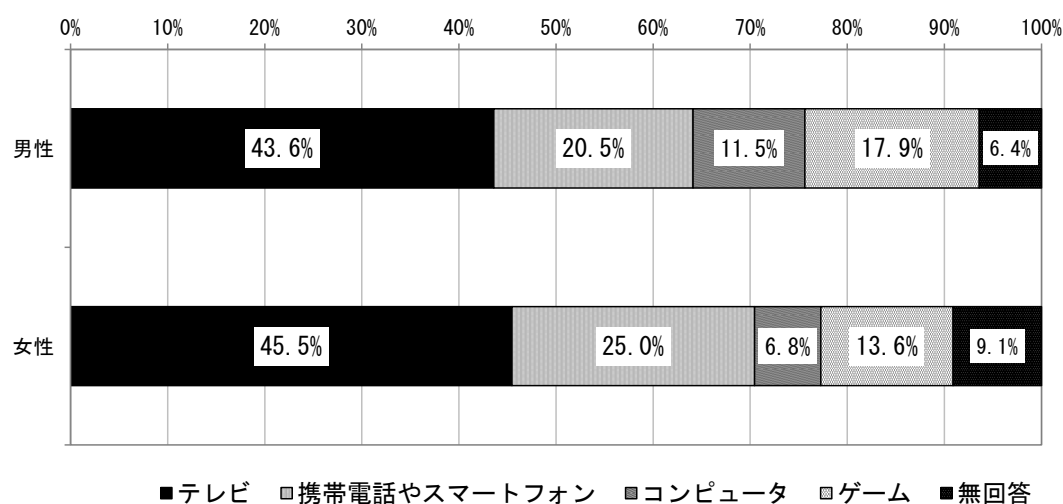
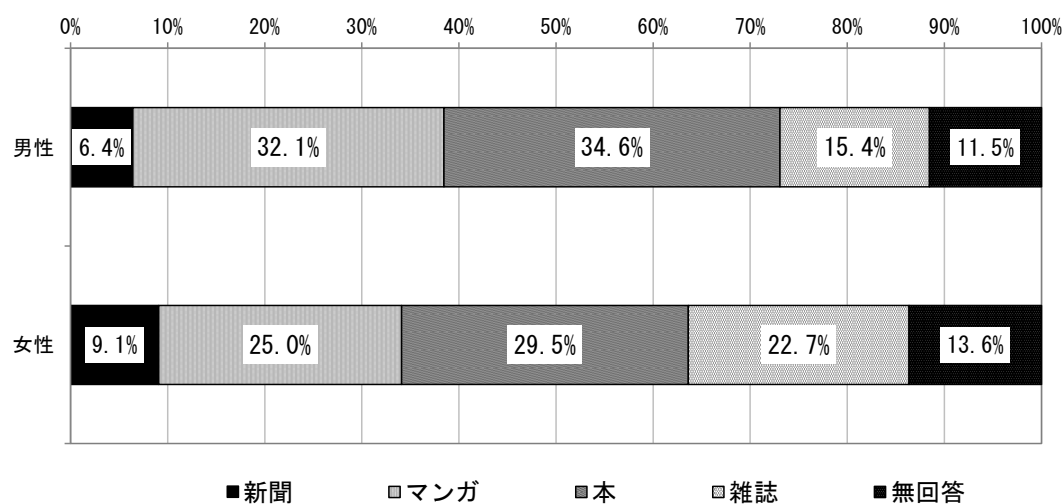


図 I-83 自分とかかわりの深いもの(特別支援学校児童・生徒③)





#### I-1-6 「どのような大人になりたいか」

『どのような大人になりたいか』について児童・生徒に聞いた回答の結果を性別で比較したところ、回答の割合が高かった項目は、小学生では、男子の回答は「たくさんの友だちや仲間がいる人」(42.5%)、「いつも努力をしている人」(41.8%)、「自分らしさをもっている人」(36.6%)であり、女子の回答は「人を思いやる心をもっている人」(52.1%)、「たくさんの友だちや仲間がいる人」(51.0%)、「自分らしさをもっている人」(43.3%)であった。

中学生では、男子の回答は「自分らしさをもっている人」(46.7%)、「たくさんの友だちや仲間がいる人」(42.0%)、「人を思いやる心をもっている人」(36.4%)であり、女子の回答は「自分らしさをもっている人」(59.1%)、「人を思いやる心をもっている人」(57.2%)、「たくさんの友だちや仲間がいる人」(49.8%)であった。

高校生では、男子の回答は「自分らしさをもっている人」(55.2%)、「たくさんの友だちや仲間がいる人」(36.3%)、「人を思いやる心をもっている人」(35.3%)であり、女子の回答は「自分らしさをもっている人」(61.3%)、「人を思いやる心をもっている人」(52.1%)、「たくさんの友だちや仲間がいる人」(41.0%)であった。

特別支援学校児童・生徒では、男子の回答は「人を思いやるやさしい人」(53.8%)、「自分らしさをもっている人」(39.7%)、「いつも努力をしている人」(29.5%)、「人の役に立てる人」(29.5%)であり、女子の回答は「人を思いやるやさしい人」(45.5%)、「人の役に立てる人」(34.1%)、「いつも努力をしている人」(29.5%)であった。(図 I-84~87 参照)

図 I-84 どのような大人になりたいか(小学生)

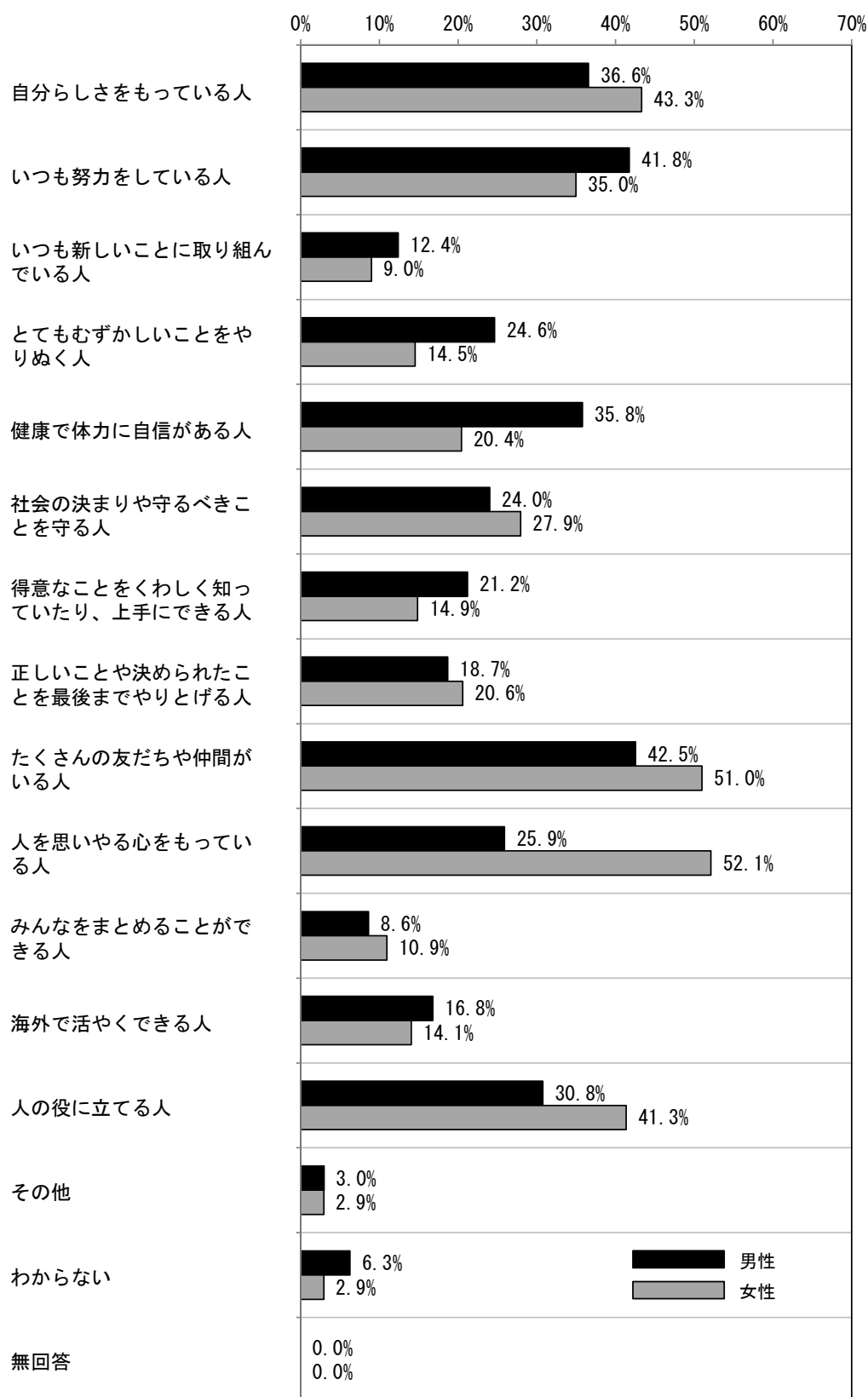


図 I-85 どのような大人になりたいか(中学生)

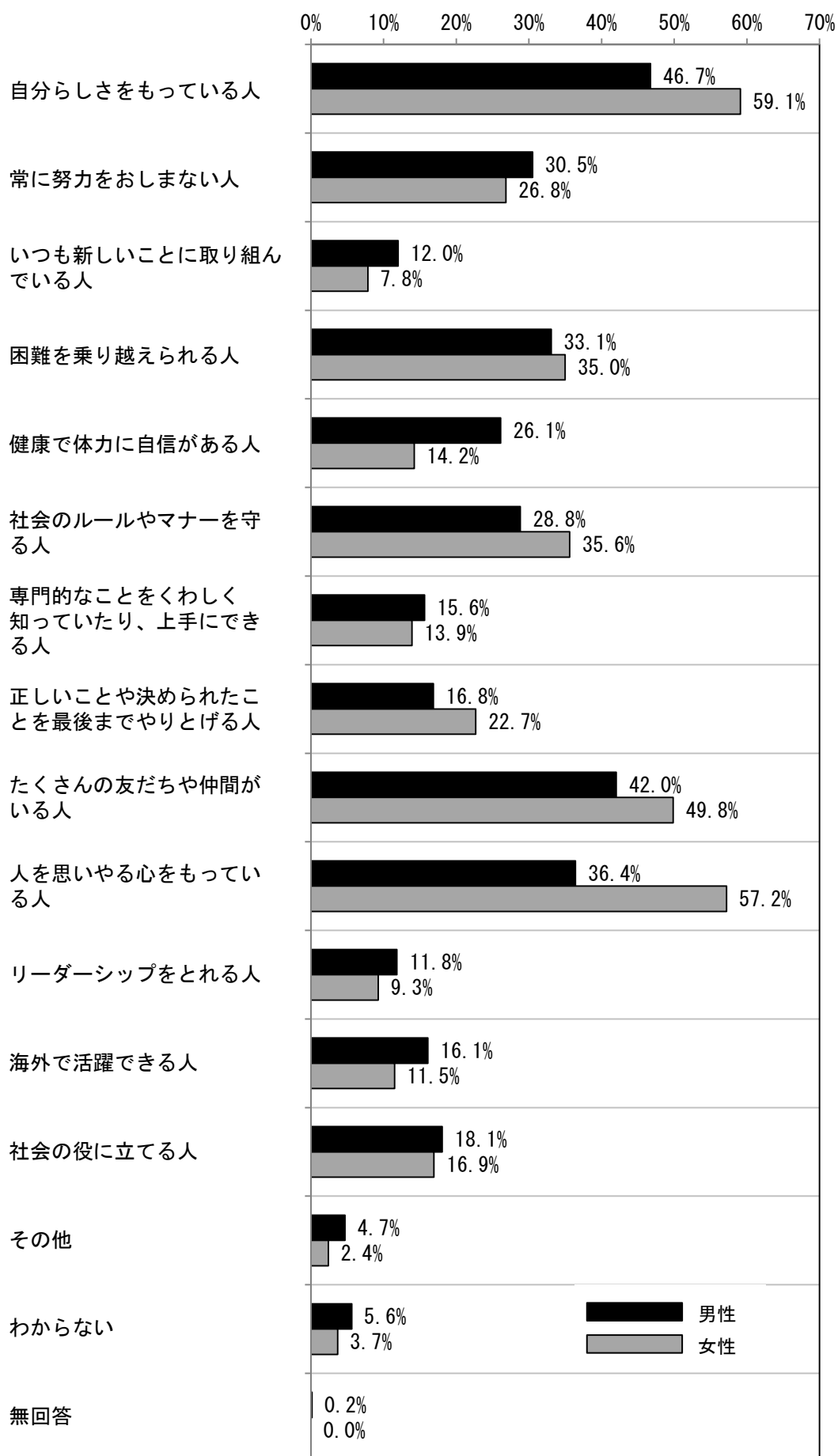


図 I-86 どのような大人になりたいか(高校生)

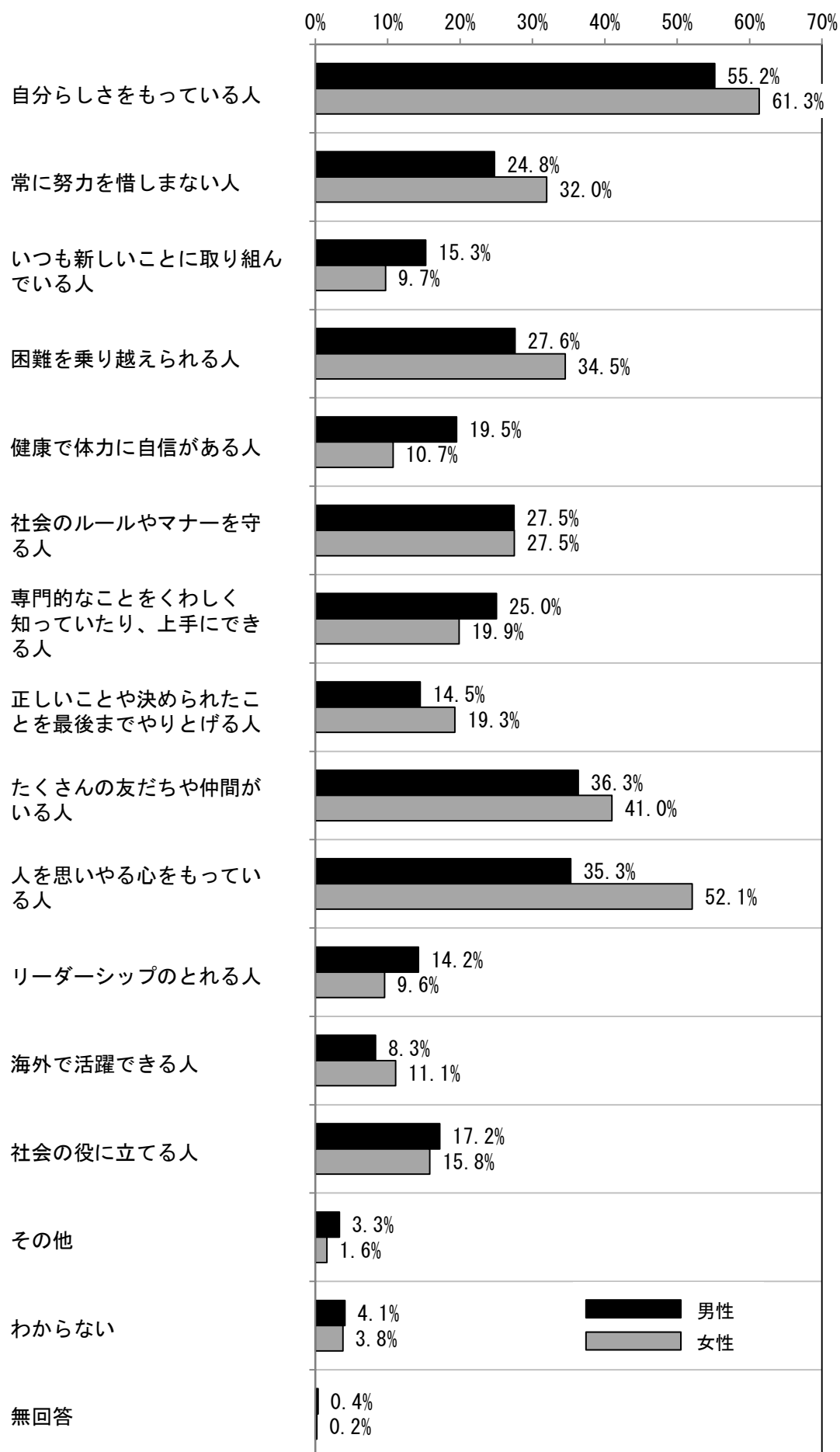
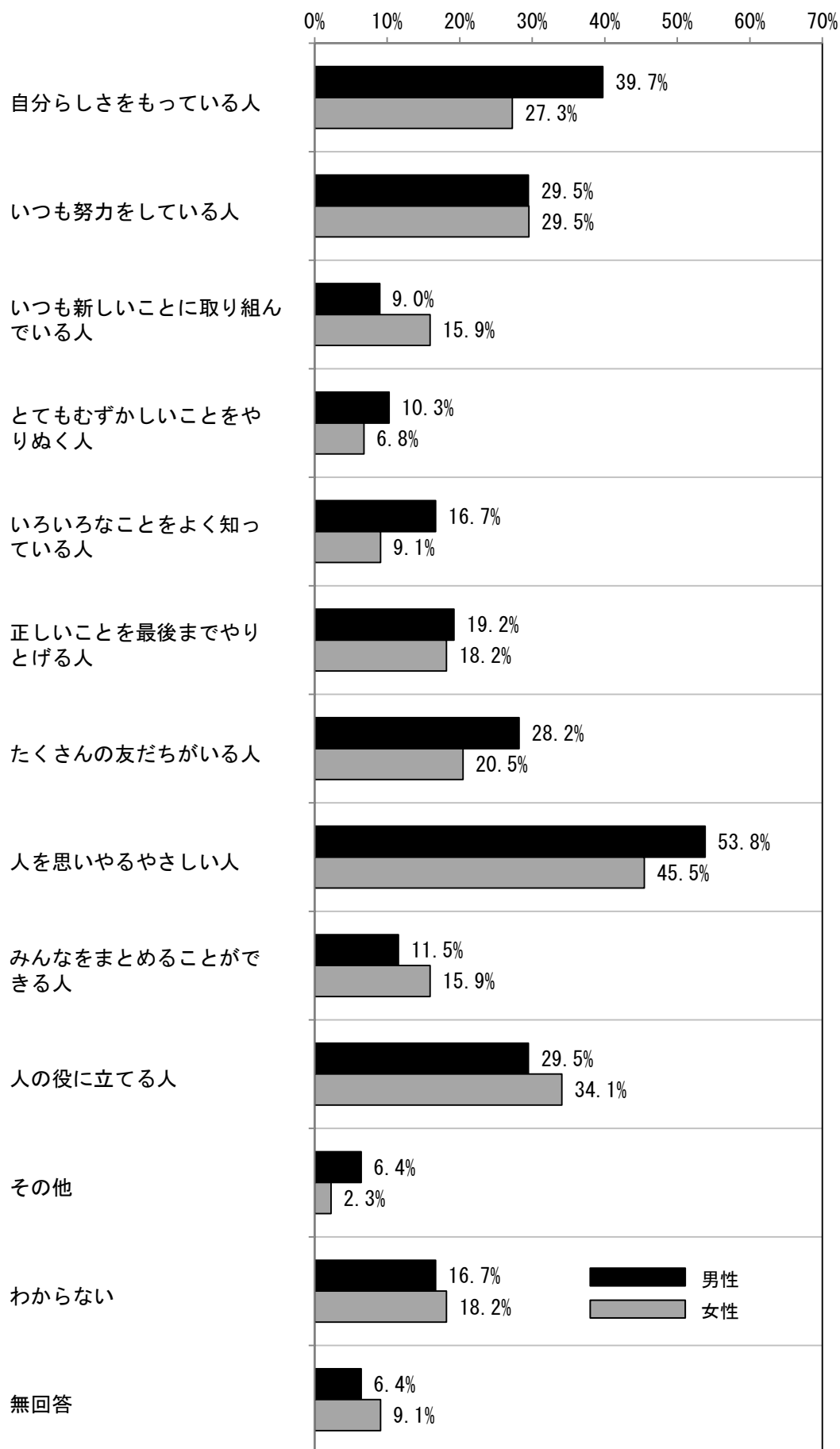


図 I-87 どのような大人になりたいか(特別支援学校児童・生徒)



### I-1-7 「これからの世の中」

『これからの世の中』について児童・生徒に聞いた回答の結果を性別で比較したところ、回答の割合が高かった項目は、小学生では、男子の回答は「今より良くなっている」(47.3%)、「わからない」(30.0%)、「今より悪くなっている」(17.7%)であり、女子の回答は「今より良くなっている」(57.2%)、「わからない」(24.0%)、「今より悪くなっている」(15.7%)であった。

中学生では、男子の回答は「今より悪くなっている」(36.9%)、「わからない」(31.1%)、「今より良くなっている」(23.1%)であり、女子の回答は「わからない」(40.9%)、「今より悪くなっている」(30.8%)、「今より良くなっている」(22.5%)であった。

高校生では、男子の回答は「今より悪くなっている」(36.1%)、「わからない」(32.3%)、「今より良くなっている」(22.6%)であり、女子の回答は「わからない」(46.1%)、「今より悪くなっている」(29.2%)、「今より良くなっている」(17.0%)であった。

特別支援学校児童・生徒では、男子の回答は「わからない」(50.0%)、「今より良くなっている」(25.6%)、「どのような社会になるか興味がない」(10.3%)であり、女子の回答は「わからない」(38.6%)、「今より良くなっている」(29.5%)、「今より悪くなっている」(13.6%)であった。(図 I-88~91 参照)

図 I-88 これからの世の中(小学生)

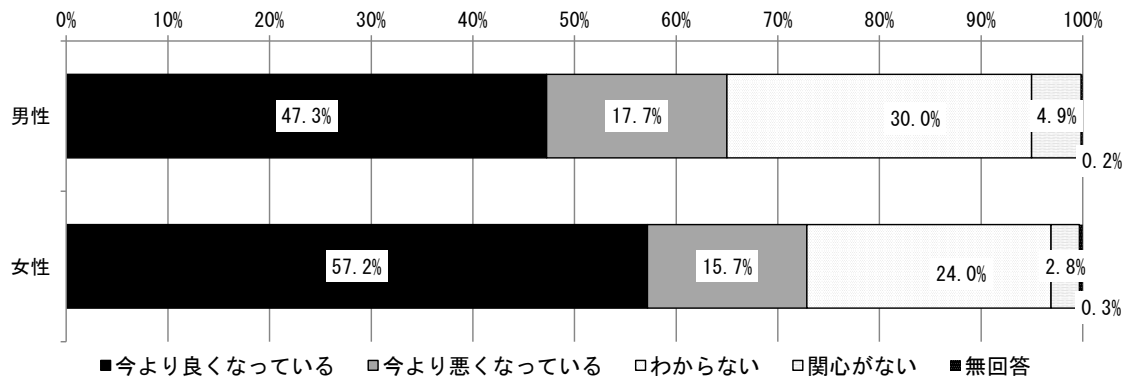


図 I-89 これからの世の中(中学生)

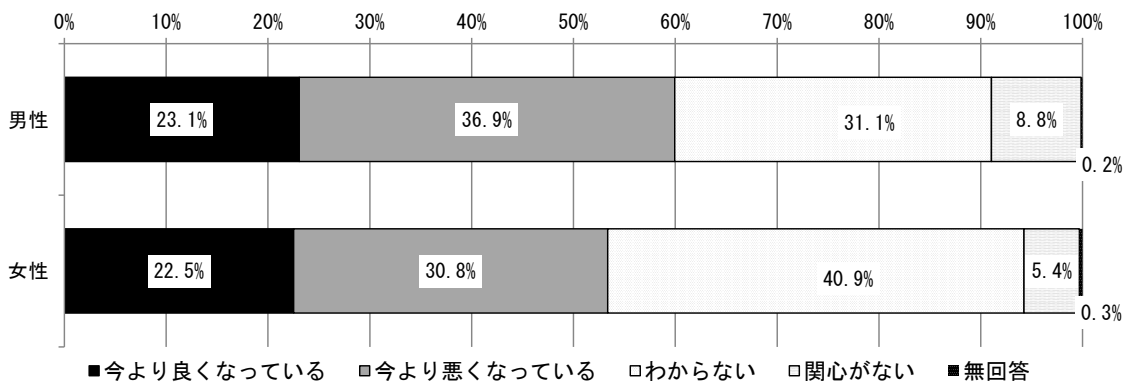


図 I-90 これからの世の中(高校生)

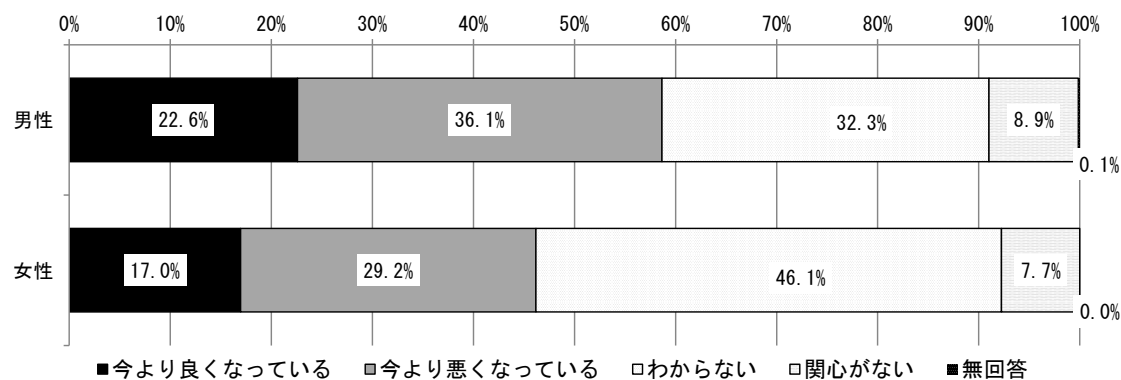
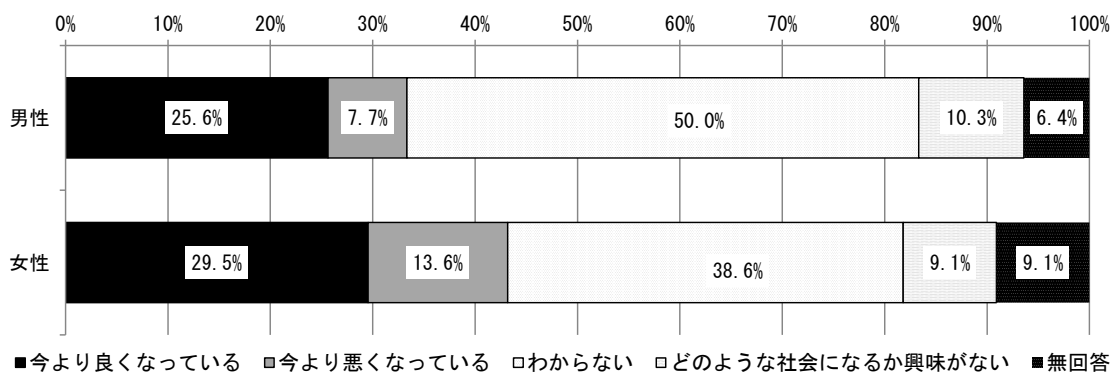


図 I-91 これからの世の中(特別支援学校児童・生徒)



### I-1-8 「学校外での生活」

『学校外での生活』について児童・生徒に聞いた回答の結果を性別で比較したところ、回答の割合が高かった項目は、小学生では、男子の回答は「スポーツや遊びでからだを動かす」(55.1%)、「テレビやマンガを見たり、ゲームやインターネットをする」(46.8%)、「しゅ味や自分の好きなことをする」(41.8%)であり、女子の回答は「しゅ味や自分の好きなことをする」(55.9%)、「家族といっしょにすごす」(41.2%)、「外出して友だちとすごす」(32.2%)であった。

中学生では、男子の回答は「趣味など自分の好きなことをする」(52.4%)、「テレビやマンガを見たり、ゲームやインターネットをする」(50.1%)、「スポーツや遊びでからだを動かす」(43.9%)であり、女子の回答は「趣味など自分の好きなことをする」(61.5%)、「外出して友だちと過ごす」(47.1%)、「テレビやマンガを見たり、ゲームやインターネットをする」(42.3%)であった。

高校生では、男子の回答は「趣味など自分の好きなことをする」(58.5%)、「テレビやマンガを見たり、ゲームやインターネットをする」(45.8%)、「外出して友だちと過ごす」(39.9%)であり、女子の回答は「趣味など自分の好きなことをする」(63.7%)、「外出して友だちと過ごす」(50.5%)、「携帯電話やスマートフォンを使って友だちと言葉のやり取りをする」(37.9%)であった。

特別支援学校児童・生徒では、男子の回答は「テレビを見る」(47.4%)、「家族といっしょにすごす」(46.2%)、「ゲームをする」(43.6%)であり、女子の回答は「テレビを見る」(52.3%)、「家族といっしょにすごす」(38.6%)、「家の手伝いをする」(27.3%)であった。(図 I-92～95 参照)



図 I-92 学校外での生活(小学生)

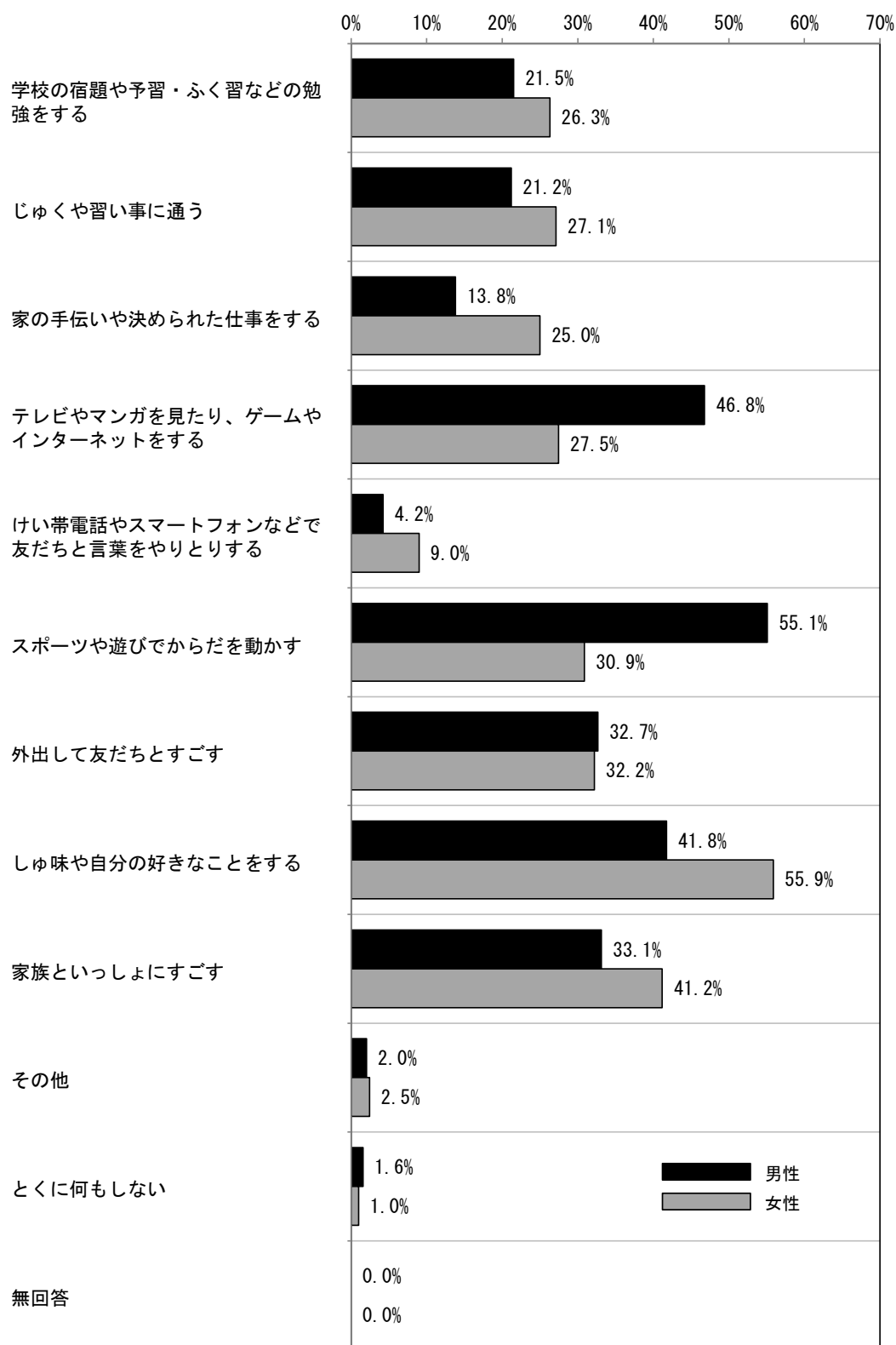


図 I-93 学校外での生活(中学生)

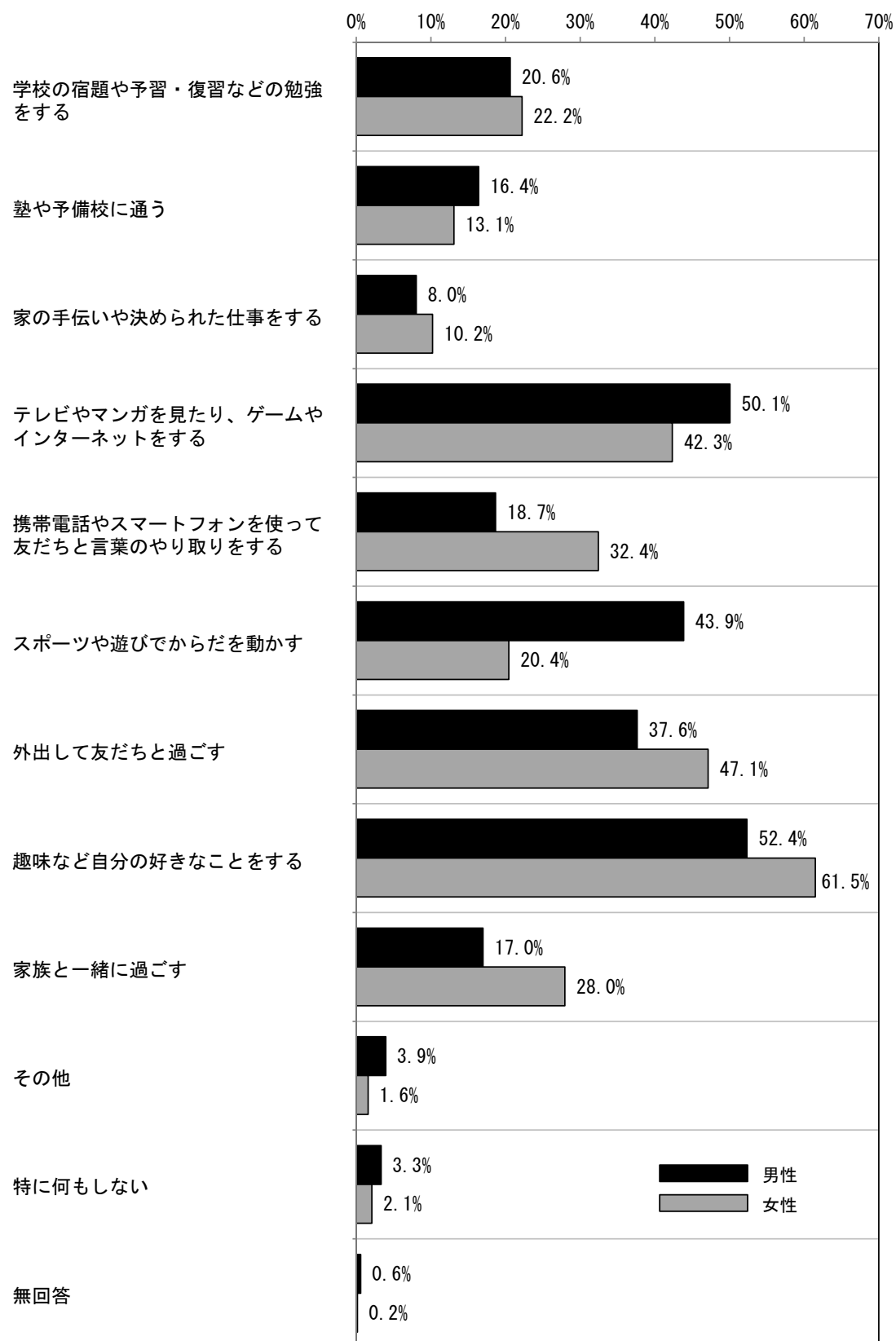


図 I-94 学校外での生活(高校生)

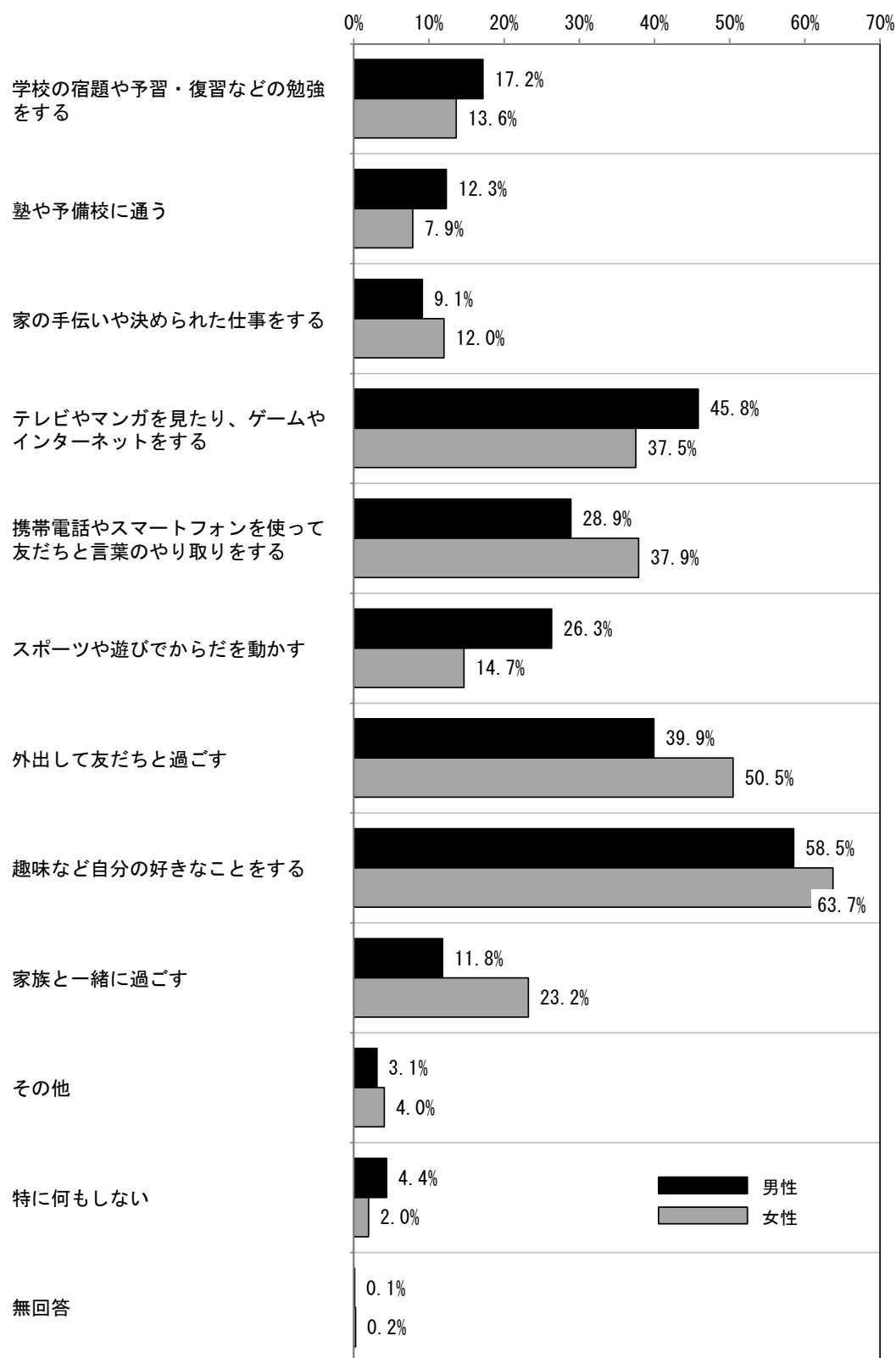
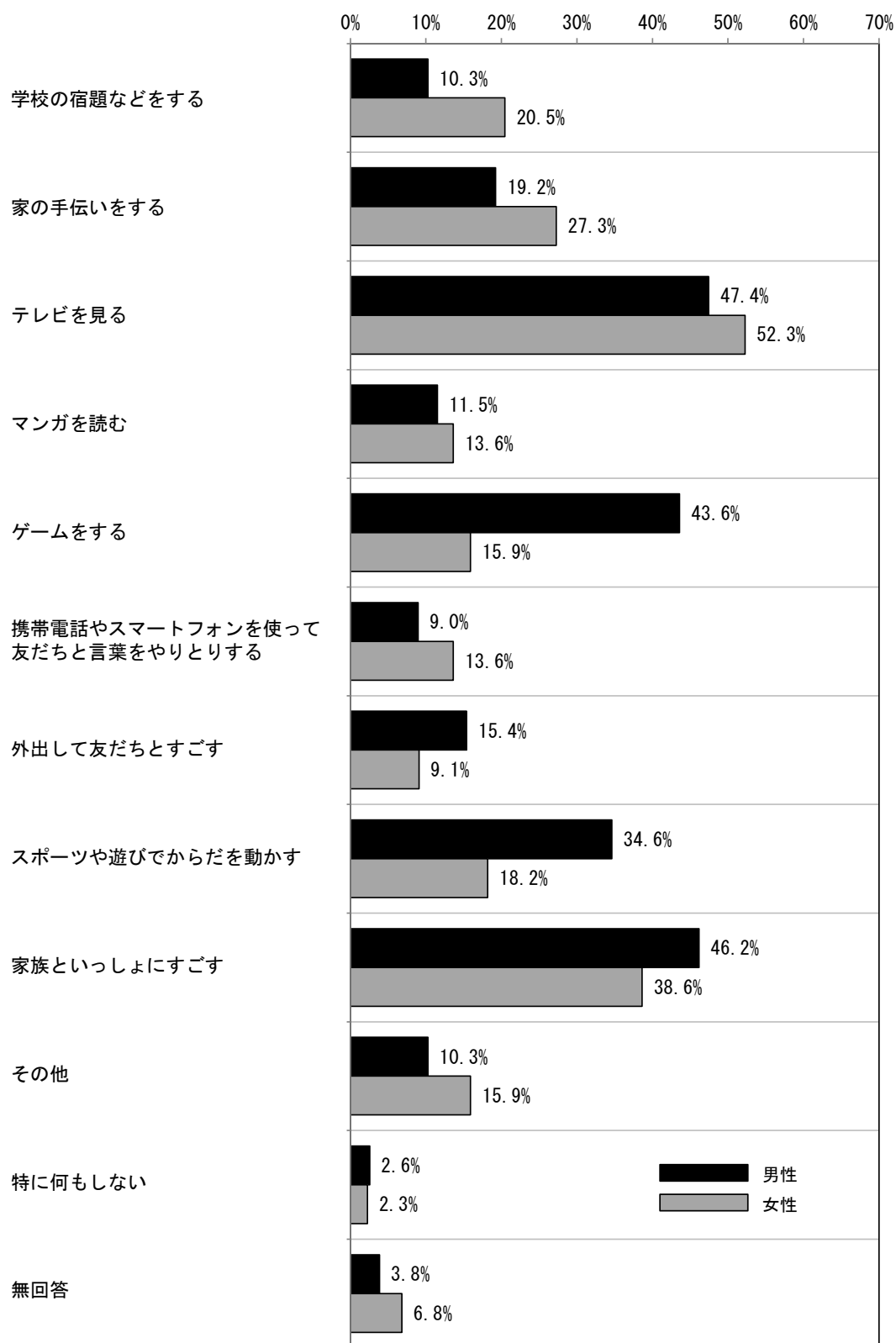


図 I-95 学校外での生活(特別支援学校児童・生徒)



### I-1-9 「勉強する理由」

『勉強する理由』について児童・生徒に聞いた回答の結果を性別で比較したところ、回答の割合が高かった項目は、小学生では、男子の回答は「りっぱな大人になるため」(50.9%)、「しょう来何かの役に立つと思うから」(40.8%)、「新しいことを知ったり、わかることが楽しいから」(24.5%)であり、女子の回答は「しょう来何かの役に立つと思うから」(49.8%)、「りっぱな大人になるため」(45.6%)、「新しいことを知ったり、わかることが楽しいから」(25.5%)であった。

中学生では、男子の回答は「高校や大学に進学したいから」(42.9%)、「将来何かの役に立つと思うから」(39.9%)、「立派な大人になるため」(30.5%)であり、女子の回答は「高校や大学に進学したいから」(51.1%)、「将来何かの役に立つと思うから」(36.9%)、「やりたい仕事があるから」(26.7%)であった。

高校生では、男子の回答は「将来何かの役に立つと思うから」(35.4%)、「進学したいから」(31.6%)、「新しい知識を得たり、理解することが楽しいから」(20.8%)、「やりたい仕事があるから」(20.8%)であり、女子の回答は「進学したいから」(38.0%)、「将来何かの役に立つと思うから」(36.8%)、「やりたい仕事があるから」(29.6%)であった。

特別支援学校児童・生徒では、男子の回答は「学校で学んだことが、将来役に立つと思うから」(39.7%)、「立派な大人になるため」(24.4%)、「新しいことを知ることが楽しいから」(21.8%)であり、女子の回答は「学校で学んだことが、将来役に立つと思うから」(36.4%)、「新しいことを知ることが楽しいから」(34.1%)、「立派な大人になるため」(15.9%)であった。(図 I-96~99 参照)

図 I-96 勉強する理由(小学生)

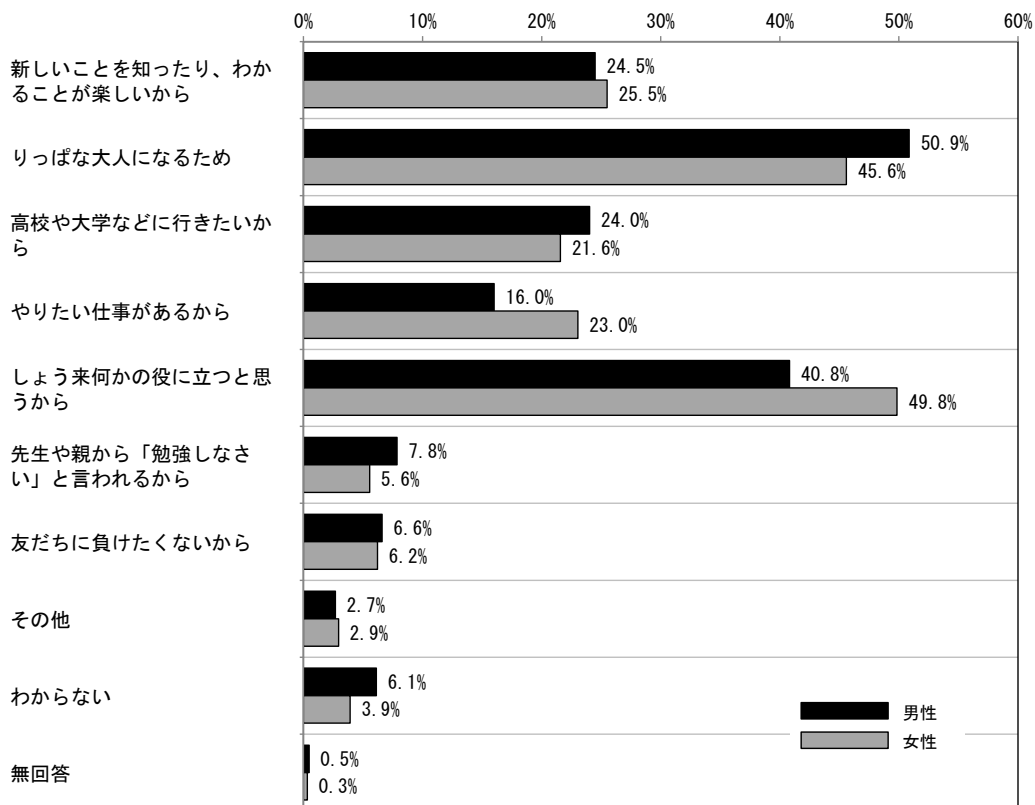


図 I-97 勉強する理由(中学生)

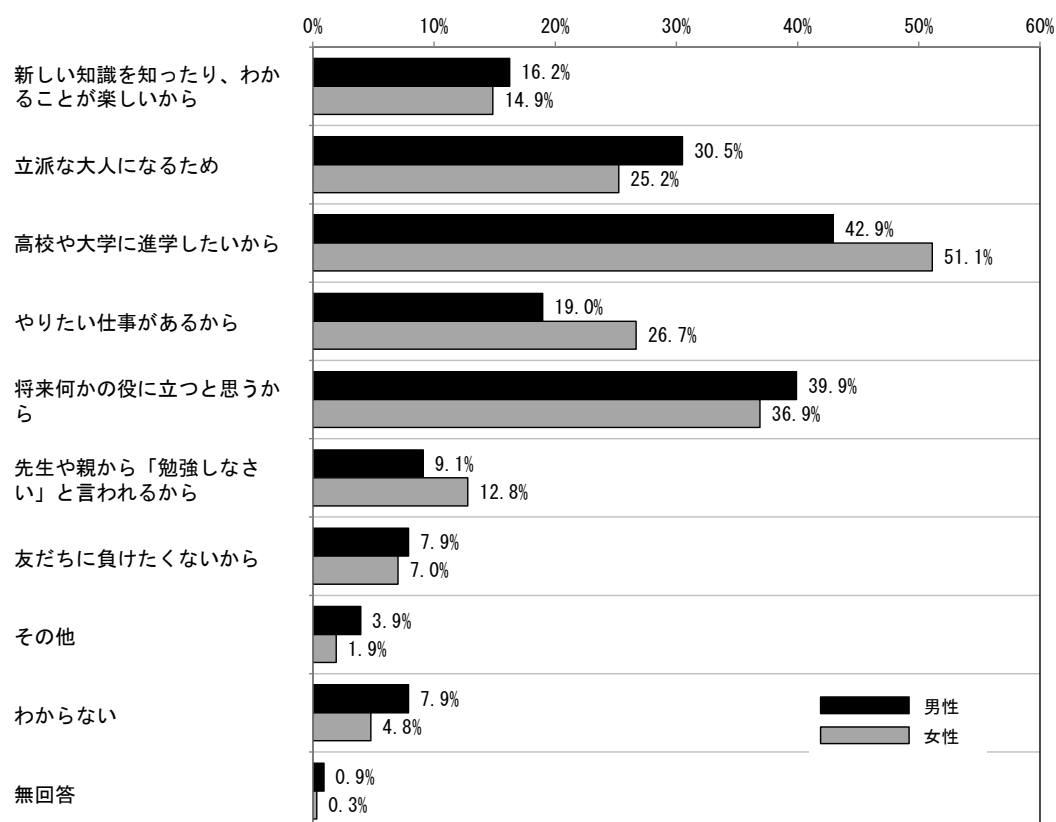


図 I-98 勉強する理由(高校生)

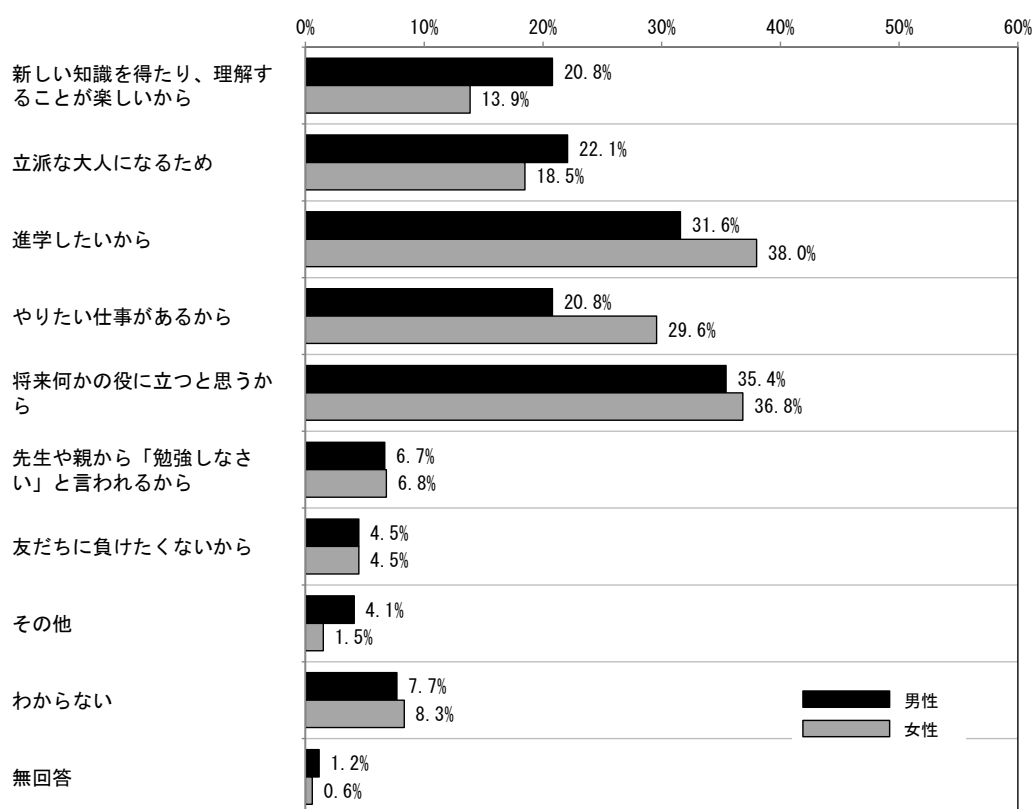


図 I-99 学校に行く理由(特別支援学校児童・生徒)

